

官報

號外

大正八年二月十一日 火曜日

印刷局

第四十二回 衆議院議事速記録第十二號

大正八年二月十日(月曜日)午後一時十二分開議

議事日程 第十一號 大正八年二月十日

午後一時開議

- 第一 大正六年法律第六號中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 戰時利得稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第四 作業會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第五 海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第六 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第七 事業公債金特別會計法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第八 臨時國庫證券法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第九 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第十 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第十一 造幣局据置運轉資本增加及設備擴張費ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第十二 帝國大學特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第十三 東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第十四 大正七年法律第四號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第十五 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第十六 北海道鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第十七 家祿賞典祿處分ニ關スル法律案(川原茂輔君外十六名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第十八 沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル家祿賞典祿處分ニ關スル法律案(川原茂輔君外十六名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第十九 財政整理ニ關スル臨時調查機關設置ノ建議案(犬養毅君外三名提出)

○議長(大岡育造君) 本日ハ本會議ノ當日デアアリマセヌケレドモ、都合ニ依リマシテ開會ヲ致シマシタ、諸般ノ報告ガアリマス

〔原田書記官朗讀〕

一去七日政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

大正六年法律第六號中改正法律案

一去六日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

利息制限法中改正法律案

提出者 赤尾 彦作君

一去七日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

伊萬里、佐世保間鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 中倉方次郎君 川原 茂輔君

則元 由庸君 牧山 耕藏君

南里 琢一君

一去八日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

四國海岸循環鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 小西 和君 井戸文四郎君

羽越橫斷鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 小林 源藏君 高橋 辰二君

戶符權之助君 大石 五郎君

熊谷 直太君 齋藤 紀一君

田邊 熊一君 高島 順作君

財政整理ニ關スル臨時調查機關設置ノ建議案

提出者 犬養 毅君 野添 宗三君

古島 一雄君 高木益太郎君

一今十日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

四國循環鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 林 毅陸君 原田佐之治君

政尾 藤吉君 竹内明太郎君

藤野 正年君

四國鐵道循環線敷設ニ關スル建議案

提出者 高島 兵吉君 村松恆一郎君

一去八日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

食糧政策ニ關スル質問趣意書

提出者 小橋藻三衛君

一今十日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

外交問題ニ關スル質問主意書

提出者 押川 方義君

師範教育振興ニ關スル質問主意書

提出者 高松 正道君 土井 權大君

地方稅制限ニ關スル法律改正ニ關スル質問主意書

提出者 土井 權大君 野口 孝治君

吉野川改修工事ニ關スル質問主意書

提出者 高島 兵吉君

一去八日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨、同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

大正五年法律第四號中改正法律案(政府提出)

(第二號)大正七年度歲入歲出總豫算追加案(政府提出)

(第二號)臨時軍事費豫算追加案(政府提出)

一今十日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨、同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

一去八日內閣總理大臣ヨリ議長宛、左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

內務省所管事務政府委員被仰付

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去六日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

第七部

決算委員 林 爲良君(志々目藤彦君補關)

一去六日道路法案委員 村松龜一郎君(辭任ニ付其補關トシテ平島松尾君ヲ、鐵道敷設法中改正法律案外一件委員 富田幸次郎君、小池仁郎君(辭任ニ付其補關トシテ井戸文四郎君、前田卯之助君ヲ執レモ議

長ニ於テ選定セリ
一去七日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案委員
會
委員長 山根 正次君 理事 齋藤 紀一君
會計士法案委員會

委員長 小川 寅六君 理事 萩 亮君
朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案委員會
委員長 一宮房治郎君 理事 山道 襄一君
葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案外一
件委員會

委員長 小林 源藏君 理事 原田 佐之治君
北鮮、裏日本聯絡航路延長ニ關スル建議案委員會
委員長 米田 稜君 理事 横井藤四郎君
森本 一郎君

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諮問事項
ガアリマス、左ノ議員ヨリ請暇ノ申出ガアリマス、病氣ニ付
去八日ヨリ向フ八日、間野村治三郎君、海外旅行ニ付今
十日ヨリ向フ四週間頭本元貞君、病氣ニ付今日ヨリ向
フ二週間岡田榮君、病氣ニ付今日ヨリ向フ二週間垣松
隆慶君、右請暇ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議ガ
アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ之ヲ許可スルコ
トニ決シマス、尙ホアリマス、第七部選出請願委員古谷久
綱君、右常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異
議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ之ヲ許可致シマ
ス、第七部ノ諸君ハ、速ニ補選選舉ヲ行ヒ御届出アランコ
トヲ望ミマス、御諮リ申シマス、憲法發布三十年紀念祝賀
ノ爲メ、賀表ヲ捧呈致シタイト思ヒマス、日程ヲ變更シテ、
唯今ヨリ其會議ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ日程變更ハ可決
シタコトヲ宣告致シマス、政府ノ同意ヲ求メテ置キマス、
政府ノ同意ガアリマシタ

憲法發布三十年紀念祝賀ノ爲メ賀表捧呈ノ件
○議長(大岡育造君) 憲法發布三十年紀念祝賀ノ爲
メ、賀表ヲ捧呈スルニ御異議ハアリヤセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ賀表ヲ捧呈スル
コトニ決マリマシタ、賀表ハ起草委員ヲ設ケテ之ヲ起草セシム
ルコトニシテ、其委員ハ十八名、議長ヨリ指名スルニ御異
議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ直チニ委員ヲ指
名致シマス、元田肇君、岡崎邦輔君、小川平吉君、江藤哲
藏君、川原茂輔君、山本悌二郎君、小久保喜七君、望月
圭介君、藤澤幾之輔君、箕浦勝人君、坂口仁一郎君、本
田恆之君、三隅哲雄君、前川虎造君、今村勤三君、尾崎
元次郎君、花井卓藏君、木下謙次郎君、右ノ委員諸君ハ
直チニ議長室ニ御參集ノ上、起草ニ著手セラレンコトヲ希
望致シマス、暫時休憩致シマス
午後一時十八分休憩

午後二時十二分開議
○議長(大岡育造君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、
起草委員長ノ報告ヲ求メマス
○元田肇君 議長
○議長(大岡育造君) 元田肇君
〔拍手起ル〕

○元田肇君 諸君、本員等ハ先刻賀表起草委員ヲ命ゼ
ラレマシテ、直チニ議長室ニ參集致シマシテ、委員長理事ノ
互選ヲ致シマシテ、不肖委員長、花井博士理事ニ舉ゲラレ
マシテ、茲ニ委員會ヲ開キマシテ、審議ヲ盡シマシテ成案ヲ
得マシタ、唯今朗讀ヲ致シマス
衆議院議長大岡育造誠恐誠謹言ス

伏シテ惟ニ
皇朝萬世一系列聖承續德化洋溢百姓其澤ニ浹洽シテ
親附欣戴セラルナシ而シテ維新ノ始首トシテ宏謀ヲ萬機
公論ニ決スルニ定メ漸次立憲爲治ノ基ヲ立テ竟ニ帝國
憲法ヲ發布シタマヘリ是ニ於テ臣民大政ニ獻替スルコト
ヲ得テ皇國ノ丕基更ニ隆固ヲ加フ洵ニ是レ萬代ノ徽範
タリ爾來茲ニ三十年 皇威四表ニ廣被シ國運八紘ニ
退暢ス而シテ今や歐洲戰亂ノ慘禍方ニ殄熄シテ世界平
和ノ休祥將ニ光熙セムトシ帝國ノ光榮益宣揚ス臣等幸ニ
此昭代ニ遭逢シ忻歡已ムナシ茲ニ嘉辰ヲトシ憲法發布
三十年紀念祝賀ノ典ヲ舉ケ上ハ以テ

聖德ノ日ニ躋ルヲ頌シ下ハ以テ奉祝ノ微忱ヲ摠フ誠ニ
歡抃欣躍ノ至ニ任ルナシ乃チ虔ミテ表ヲ捧呈恭ク實祥
ノ無疆ヲ祝シ 皇威ノ益發表ニ耀カムコトヲ禱リ奉ル
意誠恐誠謹言ス

斯様ナル成案ヲ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、何卒本
議場ニ於キマシテモ、滿場一致ノ御贊同アラムコトヲ切ニ
冀ヒマス
〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 唯今ノ委員長ノ報告ニ贊成ノ諸
君ハ、敬意ヲ表スル爲メ御起立ヲ希望致シマス
總員 起立

○議長(大岡育造君) 滿場一致可決ヲ宣告致シマス
〔拍手起ル〕
○議長(大岡育造君) 賀表ハ明日祝賀會場ニ於テ捧呈
致シマス
○廣岡宇一郎君 道路法案ノ委員會ヲ開キマスカラ許
可ヲ願ヒマス
○議長(大岡育造君) 許可致シマス
○廣岡宇一郎君 委員諸君ノ御參集ヲ請ヒマス
○小林源藏君 葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル
建議案ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマスカラ、許可ヲ請ヒマ
ス

○議長(大岡育造君) 許可致シマス
○南里琢一君 請願二分科委員會ヲ開キマスカラ、御許
可ヲ願ヒマス
○議長(大岡育造君) 許可致シマス、日程第一、大正
六年法律第六號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、
田中陸軍大臣

第一 大正六年法律第六號中改正法律案(政
府提出)
大正六年法律第六號中改正法律案 第一讀會
附則第五項中「大正九年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ、「大正八年十二月三十一日」ヲ「大正八年三
月三十一日」ニ、「三分ノ二」ヲ「六分ノ一」ニ、「二分ノ一」
ヲ「八分ノ一」ニ改ム
附則第六項中「大正十一年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ、「大正八年十二月三十一日」ヲ「大正八年
三月三十一日」ニ、「八分ノ一」ヲ「三十二分ノ一」ニ改メ
、「大正九年一月一日」ヨリ「大正九年十二月三十一日」迄
ハ同上ノ差額八分ノ二、「大正十年一月一日」ヨリ「大正十
年十二月三十一日」迄ハ同上ノ差額八分ノ四ヲ削ル
附則第十三項中「大正九年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ改ム
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年法律第六號中改正法律案
附則第五項中「大正九年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ、「大正八年十二月三十一日」ヲ「大正八年三
月三十一日」ニ、「三分ノ二」ヲ「六分ノ一」ニ、「二分ノ一」
ヲ「八分ノ一」ニ改ム
附則第六項中「大正十一年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ、「大正八年十二月三十一日」ヲ「大正八年
三月三十一日」ニ、「八分ノ一」ヲ「三十二分ノ一」ニ改メ
、「大正九年一月一日」ヨリ「大正九年十二月三十一日」迄
ハ同上ノ差額八分ノ二、「大正十年一月一日」ヨリ「大正十
年十二月三十一日」迄ハ同上ノ差額八分ノ四ヲ削ル
附則第十三項中「大正九年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ改ム
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年法律第六號中改正法律案
附則第五項中「大正九年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ、「大正八年十二月三十一日」ヲ「大正八年三
月三十一日」ニ、「三分ノ二」ヲ「六分ノ一」ニ、「二分ノ一」
ヲ「八分ノ一」ニ改ム
附則第六項中「大正十一年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ、「大正八年十二月三十一日」ヲ「大正八年
三月三十一日」ニ、「八分ノ一」ヲ「三十二分ノ一」ニ改メ
、「大正九年一月一日」ヨリ「大正九年十二月三十一日」迄
ハ同上ノ差額八分ノ二、「大正十年一月一日」ヨリ「大正十
年十二月三十一日」迄ハ同上ノ差額八分ノ四ヲ削ル
附則第十三項中「大正九年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ改ム
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年法律第六號中改正法律案
附則第五項中「大正九年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ、「大正八年十二月三十一日」ヲ「大正八年三
月三十一日」ニ、「三分ノ二」ヲ「六分ノ一」ニ、「二分ノ一」
ヲ「八分ノ一」ニ改ム
附則第六項中「大正十一年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ、「大正八年十二月三十一日」ヲ「大正八年
三月三十一日」ニ、「八分ノ一」ヲ「三十二分ノ一」ニ改メ
、「大正九年一月一日」ヨリ「大正九年十二月三十一日」迄
ハ同上ノ差額八分ノ二、「大正十年一月一日」ヨリ「大正十
年十二月三十一日」迄ハ同上ノ差額八分ノ四ヲ削ル
附則第十三項中「大正九年一月一日」ヲ「大正八年四
月一日」ニ改ム
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣田中義一君登壇〕

○國務大臣(田中義一君) 今回ノ法律改正案ヲ提出致シマシテ理由ト致シマシテハ、大正六年法律第六號ヲ以テ、明治四十四年ニ御改正ニナリマシタ恩給金額ヲ、其以前ノ恩給ヲ受クベキ者モ其金額ヲ受クルト云フコトニ規定サレテアルノデアリマス、然ルニ其當時ハ財政上ニ餘裕ノ無イ爲メニ、之ヲ五箇年ニ區分シテ逐次其恩典ニ浴セシムルト云フコトニ、法律第六號ノ附則ヲ定メテアリマス、去リナガラ今日ノ物價騰貴ノ状態ニ照シマシテ、五箇年ニ區分シテ此恩典ニ浴セシムルト云フコトハ、恩給受領者ノ爲メニハ頗ル苦痛ヲ惹ケテ居ル次第デアリマス、ソレ故ニ今回此附則ヲ改正致シマシテ、大正八年四月一日ヨリ總テ五箇年ニ區分ヲ致シマシタモノヲ繰上ゲテ、一時ニ此恩典ニ浴セシメタイト云フノガ、本案提出ノ理由デゴザイマス、ドウカ御協賛下サラシコトヲ願ヒマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 本案ノ委員ハ議長指名九名ニ致スコトニ決シマシタ、日程第三、戰時利得稅法中改正法律案 第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長井上敬之助君

第三 戰時利得稅法中改正法律案(政府提出)

〔井上敬之助君登壇〕

〔拍手起ル〕

○井上敬之助君 戰時利得稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ極メテ簡單ニ御報告ヲ致シマス、案ノ要旨ハ現行法ニ依リマスレバ、個人ト法人トノ課稅ニ權衡ヲ得ナイノガアルノデアリマス、之ヲ平衡ナラシムルノ意味ニ於テ、提案サレテ居ルノデアリマス、委員會ハ四回開會致シマシテ、種々審議討論ヲ致シマシタ結果、全會一致ヲ以テ本案ヲ可決シタノデアリマス、ドウカ諸君モ御同意アラシコトヲ希望致シマス
○議長(大岡育造君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮リマス
○岩崎勳君 二讀會ヲ開クニ異議ナシ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ、二讀會ハ可決シタモノト云フコトヲ宣告致シマス
〔岩崎勳君二讀會ニ移スコトヲ發議シタノデアリマスト呼フ〕

○議長(大岡育造君) 遠ヒマシタニ二讀會ニ移スコトヲ可決シタノデアリマス
○岩崎勳君 直チニ本案ハ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス
戰時利得稅法中改正法律案(政府提出) 第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ發議ニ三讀會ヲ省略シ、確定ヲ致スコトニ御異議ガゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三讀會ハ省略セラレ本案ノ可決確定シタルコトヲ宣告シマス——日程第四ヨリ第十一マデハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括シテ議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ一括シテ議題トシマス、第四、作業會計法中改正法律案、第五、海軍工廠資金會計法中改正法律案、第六、國債整理基金特別會計法中改正法律案、第七、事業公債金特別會計法案、第八、臨時國庫證券法中改正法律案、第九、朝鮮事業公債法中改正法律案、第十、臺灣事業公債法中改正法律案、第十一、造船局据置運轉資本增加及設備擴張費ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス——粕谷義三君

第四 作業會計法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)
第五 海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 事業公債金特別會計法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 臨時國庫證券法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第一〇 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第一一 造船局据置運轉資本增加及設備擴張費ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔粕谷義三君登壇〕

○粕谷義三君 日程第四ヨリ第十一マデ、都合八案ゴザイマスルガ、順次此日程ノ順序ニ從テ御報告申上ゲタイト思ヒマス、各案トモ大體其多クハ悉ク皆豫算ニ關聯致シタ法案デゴザイマス、併シ案ノ内容ハ何レモ極ク簡單ナモノデアリマスルカラ、自然私ノ御報告モ簡單ニ申上ゲマスル積リデアリマス、日程第四ハ作業會計法中改正法律案デゴザイマスガ、是ハ既ニ御承知ノ如ク、前議會ニ於キマシテ協賛ヲ與ヘマシタ日本爆發物株式會社買收ノ結果デゴザイマス、即チ海軍ニ於テ要シマスル所ノ火藥ヲ、海軍省自身ガ之ヲ直營スルト云フコトノ方法ノ爲メニ、此作業會計法ノ改正ヲ必要ト致スノデゴザイマス、即チ其第一條ニ於キマシテ、海軍火藥廠ト云フ一ノ目ヲ加ヘマスルコト、此作業ヲ致シマスルニ付キマシテ、之ニ要スル所ノ運轉資本ヲ二百萬圓トシテ、漸次之ヲ一般會計カラ繰入レテ行クコトニスル、斯ウ云フ案デアリマス、之ヲ大正七年度ヨリ此事ヲ經營ヲ致シテ行クト云フ案デゴザイマシテ、之ニ付キマシテハ委員會ハ誠ニ當然ノ事ト考ヘマシテ、全會一致ヲ以テ可決シマシタ、日程第五ノ海軍工廠資金會計法中改正法律案、是ハ現在ノ海軍工廠ノ資金ハ九百五十萬圓デアリマス、然ルニ御承知ノ如ク近來鐵ノ價格モ騰貴ヲ致シテ參リマシタシ、加フルニ我國ノ造船造兵ノ事業モ、一年毎ニ段々大キクナツテ參リマシテ、隨テ之ニ要スル所ノ材料モ多キヲ要スル譯デアリマス、即チ現在ノ資金ノ百五十萬圓ハ、明治四十二年ノ制定ニナリマスル所ノ制限價格デアリマスノデ、到底之ヲ以テ十分ニ此造船造兵ノ事業ヲヤテ行クコトガ出来ナイト云フコトカラ、茲ニ更ニ二千萬圓ニ増加シタイト云フコトノ改正案デゴザイマス、是モ亦今日ノ場合已ムヲ得ザルモノト認メマシテ可決ヲ致シタノデゴザイマス、日程第六國債整理基金特別會計法中改正法律案、是ハ從來特別會計カラ國債整理基金ニ繰入レマシタ金ガ、一旦一般會計ヲ經由シテ行クコトニナツテ居リマス、甚ダ豫算ノ形式カラ申シマシテモ頗ル複雑ニナツテ居ルノデアリマス、ソレヲ此度改正シテ、特別會計カラ直チニ此國債整理基金特別會計ヘ繰入レルヤウニシテ、即チ一般

會計ヲ經由スルコトヲ止メル、サウシテ豫算ノ形式ノ簡明、事務ノ簡捷ヲ期スルコトヲ第一ノ目的、又モウツノ目的ハ、國債ノ整理基金法ニ依リマス國債ノ元金ノ償還ニ充テマス爲メニ、國債整理基金ノ百分ノ百十六ヲ年々積立テ行カケレバナラス、此基金ノ方ハ繰入レテ行カケレバナラス制度ニナテ居リマス、然ルニ臨時國庫債券ハ、御承知ノ如ク全ク一時ノ金融ノ爲メニ保有サル、ノデアリマス、此臨時國庫債券ダケヲ一ノ全ク國債トシテ別ノ扱ニスル、即チ大藏證券同様に扱ニスルト云フコトノ必要カラ、此整理基金法ニ改正ヲ加ヘテ、唯今申上ダタヤウナ趣意ヲ以テ、此改正ヲスルト云フノガ此案ノ要旨デアリマス、是モ相當ナル議ト認メラレテ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、日程第七事業公債金特別會計法案、是ハ此度新ニ制定ニナリマシタ法案デアリマス、此法案ノ制定ト同時ニ、是マデアリマシタ所ノ朝鮮事業公債金特別會計法、ソレカラ事業分債及鐵道特別會計法、此二ツノ法律ハ廢止サレテ結果ニナリマス、是ハ要スルニ其目今度此法律ヲ制定シヤウト云フデアリマス、即チ前ニ申上ダマシタ如ク、朝鮮ノ事業公債ニ對シマシテハ、朝鮮事業公債特別會計法アリ、又臺灣デアルトカ、或ハ其他ノ事業公債ニ對シマシテハ、今申上ダタ事業公債及鐵道特別會計法ト云フモノガアル、而シテ此二種ノ特別會計ノ間ニ於キマシテモ、互ニ其一致シナイ點モアルノデアリマス、更ニ又均シク事業公債ヲ以テ支辨致シマスル事柄デモ、何等特別會計等ノ規定ノナイ所ノモノモアル、即チ彼ノ樺太ノ事業公債ノ如キ、或ハ又前議會ニ於テ御決メニナリマシタ電氣事業ノ如キモサウデアリマス、是等ニ對シテ別ニ特別會計ト云フモノハ設ケテナイノデアル、ソレ故ニ是等ノ總テノ事業公債ニ屬シマスモノハ、今度制定シマス所ノ事業公債特別會計法ニ依リマシテ、之ヲ統一ヲ致シテ行キタイ、斯ウ云フ精神カラ此法案ヲ制定セントセラルノデアリマス、是モ誠ニ適切ナル立法ト認メマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、次ハ日程ノ第八、臨時國庫證券法中改正法律案、御承知ノ通り臨時國庫證券ノ發行最高額ハ、現在ニ於キマシテハ五億圓ト定メラレテアルノデアリマス、ソレヲ今度ノ改正案ニ於キマシテハ、更ニ三億圓ヲ増加致シマシテ、其第二條ノ五億圓ヲ八億圓ニ改メタイ、是ガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ其目今度ノ追加ヲスルノデアリマス、即チ此第一條ノ臨時國庫證券募集ノ目的ガザイマスガ、即チ此輸出爲替資金ノ疏通ヲ計ルコト、ソレカラ聯合與國ニ對スル輸出軍需品ノ代金ノ決済、此二ツガ今日マデ臨時國庫證券募集ノ目的ニナテ居ラデデアリマス、更ニ此度モウ

ソ目的ヲ追加スル、斯ウ云フコトデ「聯合國ノ財政ヲ援助スル爲ニ」斯ウ云フ一ノ目的ヲ加ヘタイト云フノガ、今回提出サレタ改正案ノ要旨デアリマス、此三億圓ノ増加ノ必要ハ、申スマデモナク世界ノ戰局ハ既ニ終リテ告ゲタヤウナモデアリマス、ケレドモ、貿易其他ノ關係ニ於キマシテ、尙ホ本年ニ於キマシテモ、我國ニ正貨ノ受取勘定ニナルベキ所ノモノガ、約四億圓ヨリ五億圓ニ達スルデアラウト云フコトハ、過日ノ議會ニ於キマシテモ、大藏大臣ガ當議場ニ於テ言明セラレテ居ルヤウナ次第デアリマス、固ヨリ此本年ニ於ケル正貨ノ受入勘定ト云フモノハ、全ク見込ニ過ギナイノデアリマスカラ、果シテ其通りアルカドウカ、ソレハ固ヨリハ確平タルコトハ申上兼ネルノデアリマス、併シ免ニ角大體ニ於キマシテ、政府ノ見込トシテ、約四億圓ヨリ五億圓ノ正貨ノ受取勘定ニナルデアラウト云フコトデアリマス、果シテサウデアルト致シマスレバ、是ガ調節ヲ圖リマス上ニ於テ、若干此臨時國庫證券發行限度ヲ増加スルト云フコトモ、亦是レ已ムヲ得ナイ事ニ相成リマス、更ニ又聯合國ノ財政ヲ援助スル目的ヲ加ヘマス必要ハ、今日民間ニ於キマシテ、戰時中ニ英國ノ國庫證券ナリ、或ハ佛國ノ國庫證券ナリ、或ハ大藏證券ナリ、斯ウ云フ種類ノモノヲ民間ニ於テ引受ケテ居リマス高ガ、約二億圓ニ達シテ居リマスサウデアリマス、是等ノモノハ本年內ニハ期限ガ到著致スノデアル、此場合ニ於テ果シテ聯合國ガ是等ヲ現金ヲ以テ償還スルカドウカ、ソレモ分ラヌコトデアル、而シテ若シ其時ニ至テ、民間ノ經濟事情ガ其借換ヲ便トシナイト云フヤウナ事情ガ起テ來タ場合ニ於テ、政府ハ之ニ對シテ內國債ヲ募集シテ、此借換ノ場合ニ於テ、ソレヲ政府ノ方デ引受ケテヤルト云フ必要モ、亦茲ニ起テ來ルカモ知レナイ、ソレ故ニソレコレノ必要カテ、國庫證券ノ本年度ニ於ケル募集額ヲ更ニ三億圓ヲ増加シテ貫ヒクイト云フノガ、即チ此改正ノ要旨デアルノデアリマス、是モ委員會ニ於キマシテハ、慎重ニ審議ヲ盡シマシタ、其審議中ニ於キマシテハ、一委員ヨリシテ、國庫證券ノ發行ハ、動モスレバ通貨ノ膨脹ヲ促スコトニ相成ルノデアルカラ、政府トシテハ務メテ之ヲ避ケテ貫ヒクイト、而シテ之ニ代ユルノ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲ、或ハ又彼ノ勸業債券ヲ募集スルト云フヤウナ方法ニ依ッテ、務メテ民間ノ零碎ノ資金ヲ吸收シタナラバ、無論國庫證券ヲ募集シナイデモ、ソレ等ノ資金ニ依ッテ、十分ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ルデアラウト云フヤウナ意見モアリマシタ、併ナカラ政府ト致シマシテハ、郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲルト云フコトハ、民間ノ金融事情、或ハ又銀行業トノ關係モ十分考慮シナケレバナラスノデアリマスカラ、政府ハ郵便貯金ノ利子ノ引上ト云フコトニ向テハ同意ヲ表セラレナイ、而シテ出

來得ル限り零碎資金ヲ集メテ、サウシテ是等ノ目的ニ供スルト云フコトニ付テハ、從來モ政府ハ務メテ居ルコトデアリマセウガ、更ニ今後ニ於テ是等ニ副フコトヲ十分ニ務メルト云フコトデアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ、別段ニ何等修正等ノ事モゴザイマセヌデ、政府ノ此言明ヲ信賴致シマシテ、原案ヲ全會一致ヲ以テ可決ヲシタヤウナ次第デアリマス、次ニ日程ノ第九、朝鮮事業公債法中改正法律案、是ハ朝鮮ニ於キマシテ、釜山及元山、此二箇所ノ海關工事ヲ擴張スルト云フヤウナ計畫デアリマシテ、大部分ハ釜山ノ方ノ築港ニ用キラレル金デアリマス、乃チ此朝鮮事業公債法ニ於キマシテ、現在一億六千八百萬圓トアリマスモノヲ、一千万圓ヲ増加致シテ、一億七千八百萬圓ニ改メマス、斯ウ云フ案デアリマス、是モ段々委員會ニ於キマシテハ、審議ノ末原案ヲ可決ヲ致シマシタ、日程ノ第十、臺灣事業公債法中改正法律案、此案ノ内容ハ二三點ガザイマスガ、大體ハ即チ臺灣ノ事業ノ爲メニ、公債ヲ募集スベキ制限額七千三百萬圓ヲ九千二百五十萬圓ニ改メテ、即チ此千九百萬圓ダケヲ更ニ増額ヲシヤウト云フ案デアリマス、此公債ヲ必要ト致シマスル理由ハ、大體ニ於キマシテハ、既ニ決定ニナテ居リマス所ノ、臺灣ノ地方ノ鐵道ノ建設、及ビ更ニ此中港ト大肚間ニ於ケル所ノ海岸線ヲ一ツ設ケルト云フ趣意デアリマス、即チ此中港ト大肚間ハ丁度海岸線ガ出來マスルカラ、複線ニナリマス計畫デアリマス、之ニ要スル資金ヲ兩方合セテ千九百萬圓ダケヲ、更ニ此公債ニ依テ募集スルコトノ出來ルコトニスルト云フノガ、即チ此改正ノ趣意デアリマス、尙ホ其他ニ此臺灣事業公債法ハ、其制定ガ最モ舊イノデアリマシテ、明治三十二年ノ是ハ法律デアリマスルノデ、隨テ其中ニ規定サレテアル條項ト云フモノガ、甚ダ今日ノ場合ニ適合セザルノミナラズ、最近諸君ノ協贊ニ依テ制定サレマシタ國債ニ關スル法律ト云フノガ、ゴザイマスルガ、是等ノ規定トモ一致セザル點ガ澤山ニ在ルノデアリマス、ソレ故ニ其等ノ條項ヲ改正ヲ致シマシテ、大體ハ此國債ニ關スル法律ニ依ルヤウニ致シタイト云フノガ、即チ此幾多ノ條項ニ於テ改正ヲ加ヘラレテ居ル點デアリマス、委員會ニ於キマシテハ、此政府提案ノ各修正ノ箇所ニ對シマシテハ、何等異議ナク政府案ヲ可決ヲ致シマシタ、而シテ更ニ委員會ト致シマシテハ、尙ホ其上ニ修正ヲ加ヘル必要アリト認メマシテ、第一條ニ於テ斯様ニ修正ヲ決議致シマシタノデアリマス、此修正案ハ未ダ御手許ノ方ニ廻テ居ラヌカモ知レマセヌノデアリマスガ、第一條ハ現行ノ法律ニ依リマスルト、臺灣ニ於テ公債ヲ募集シ得ベキ金額ノ制限ヲ定メマシテ、更ニ此公債事業ノ種類ガ一カラ六マデ列舉サレテアルノデ、委員會ニ於キマシテハ、段々審議ノ末、

此事業公債法ニ列舉サレテアル所ノ幾多ノ目的ト云フモノハ、今日ニ於テハ既ニ大部分ハ結了シタモノガ多クイノデア
ル、加フルニ臺灣ニ於テハ、將來尙ホ幾多ノ公債ヲ以テ支
辨スベキ所ノ事業ト云フモノガアルノデアアルカシテ、此ニ此
目的ヲ列舉スルコトハ廢メテシマフ、サウシテ第一一條ヲ單
ス様ニ修正スルノガ相當デアルト斯ウ決定ヲ致シマシタ、即
チ第一一條ヲ斯様ニ改メタイト云フデアリマス「臺灣ニ於ケル
事業費支辨ノ爲メ政府ハ從前募集シタルモノヲ通シテ九千
二百五十萬圓ヲ限リ公債ヲ募集スルコトヲ得」斯様ニ修
正ヲ致シマシテ、現行法ニ此目的ガ列舉シテアルモノヲ悉
ク削除致シマシタ、テ斯様ニ修正ヲ致シマスルト云フコト
ハ、今申上デマシタ理由ノ外ニテ、現行ノ朝鮮ノ事業公債
法ト云フモノハ、僅ニ三章デアリマシテ、斯様ニ臺灣事
業公債法ノ如クニ、事業ノ種類ト云フモノハ何等列舉シテ
アリマセズ、乃チ此委員會ニ於キマシテハ、臺灣事業公債
法ヲ朝鮮事業公債法ト同様ニ、之ヲ修正致シタニ過ギナ
イノデアリマス、第十一、造幣局据置運轉資本増加及設
備擴張費ニ關スル法律案、是ハ段々此造幣局ノ事業モ殖
エテ參リマシテ、到底此現在ノ資本ヲ以テ、十分ニ仕事ヲ
ヤデ參ルコトガ出來ナイト云フ狀況ニ立至リマシタ、殊ニ
御承知ノ如ク戰時ニ非常ニ補助貨ガ拂底致シマシタ、殊ニ
ニ、彼ノ小額紙幣ナルモノガ發行サレテアリマス、其等ガ約
九千百萬圓許リニナテ居ルノデアリマス、是等ノモノハ近
キ將來ニ於テ、補助銀貨ト引換フシナケレバナラヌノデアリ
マス、旁、此造幣局ノ設備ヲ擴張スル必要等ガアリマシテ、
造幣局ノ資本ノ中へ二百六十一萬圓一般會計カラ繰入
レテ、其繰入レタ中ノ百一十一萬圓ト云フモノハ、造幣局
設備擴張ノ爲メニ之ヲ使用シ、百五十萬圓ハ据置運轉資
金ノ方ヘ増加致シタイト云フ案デアリマス、是モ段々審議
ノ結果原案ヲ可決致シマシタ次第デアリマス、甚ダ簡單デ
アリマスガ、以上ヲ以テ八案ダケノ御報告ヲ畢リマシタ（拍
手起ル）

○議長(大岡育造君) 唯今御報告ニナリマシタ日程第
四カラ第九マデノ決ヲ採リマス、各案ノ第二讀會ヲ開クニ
御異議ハアリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ日程第四乃至第九ノ六案ノ第二讀
會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確
定セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセ
スカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 直チニ各案ノ第二讀會ヲ開キマス
作業會計法中改正法律案(政府提出) (確定議)
海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出) (確定議)
國債整理基金特別會計法中改正法
律案(政府提出) (確定議)
事業公債金特別會計法案(政府提出) (確定議)
臨時國庫證券法中改正法律案(政府提出) (確定議)
朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出) (確定議)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ第三讀會ヲ省
略シテ、委員長報告ノ通り可決確定シタルコトヲ宣告致シマ
ス

○米田稜君 議長、是ヨリ清津築港ノ委員會ヲ開キタイ
ト思ヒマスカラ許可ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 御異議ガナイヤウデス、許可致シマ
ス

〔米田稜君「委員會諸君ハドウソ委員會室ヘ御出ヲ
願ヒマス」ト呼フ〕

○議長(大岡育造君) 日程第十、臺灣事業公債法中改
正法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮リマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ第二讀會ヲ開
クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ本案ノ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略
シテ委員長報告ノ通り、即チ委員會ニ於テ修正議決ノ通
リ可決確定サレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセ
スカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ直チニ第二讀會ヲ
開キマス

臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ岩崎君ノ動議ノ
通り、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シ
マス、日程第十一、造幣局据置運轉資本増加及設備擴張
費ニ關スル法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮リマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ二讀會ヲ開クニ
決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ本案ノ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略
シテ委員長報告ノ通り可決確定サレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセ
スカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ直チニ第二讀會ヲ
開キマス

造幣局据置運轉資本増加及設備擴張費ニ關ス
ル法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案第三讀會
ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定シタルコトヲ宣告致
シマス、日程第十二、第十三、第十四同一委員ニ付託シ
タル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議ハアリマセ
スカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ一括議題ト致シ
マス—委員長木下謙次郎君

第十二 帝國大學特別會計法中改正法律案
(政府提出)第一讀會(續)委員長報告)

第十三 東京帝國大學及京都帝國大學臨時
政府支出金ニ關スル法律案(政府提
出) 第一讀會(續)委員長報告)

第十四 大正七年法律第四號中改正法律案
(政府提出)第一讀會(續)委員長報告)

〔木下謙次郎君登壇〕

○木下謙次郎君 御付託ニ相成マシタ案件ハ三ツデアリ
マスガ、唯今議長カラ宣告致サレマシタ通り、日程第十二ヨ
リ第十四ニ至ルマデノ三件デアリマス、極メテ簡單デアリマ
スケレドモ、順次ニ委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲタイト考
ヘマス、日程第十二ハ帝國大學特別會計法中改正法律
案、是ハ御承知ノ通りデアリマスガ、帝國大學ノ豫算ノ收
支ハ特別會計法ニ依テ規定サレテ居リマスノデ、政府ノ支
出金ハ法律ニ依テ一定致シテ居ルノデスガ、此度政府ハ
本年ノ豫算ニ於テ、帝國大學ノ教授助教授ノ俸給ノ平均
増加額ヲ要求シテアリマスノト、尙ホ東京帝國大學ノ文學
部ノ中ニ、教育部ヲ設置スル費用ヲ豫算ニ要求致シテア
リマシテ、政府ノ支出金増加ノ費目ガ豫算ニ現レテ居リマ
ス、隨テ此豫算ヲ實行スル爲メニ、特別會計法ノ改正ヲ必

○議長(大岡育造君) 唯今御報告ニナリマシタ日程第
四カラ第九マデノ決ヲ採リマス、各案ノ第二讀會ヲ開クニ
御異議ハアリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ日程第四乃至第九ノ六案ノ第二讀
會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確
定セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセ
スカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ岩崎君ノ動議ノ
通り、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シ
マス、日程第十一、造幣局据置運轉資本増加及設備擴張
費ニ關スル法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮リマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ二讀會ヲ開クニ
決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ本案ノ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略
シテ委員長報告ノ通り可決確定サレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセ
スカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ直チニ第二讀會ヲ
開キマス

造幣局据置運轉資本増加及設備擴張費ニ關ス
ル法律案(政府提出)
第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案第三讀會
ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定シタルコトヲ宣告致
シマス、日程第十二、第十三、第十四同一委員ニ付託シ
タル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議ハアリマセ
スカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ一括議題ト致シ
マス—委員長木下謙次郎君

第十二 帝國大學特別會計法中改正法律案
(政府提出)第一讀會(續)委員長報告)

第十三 東京帝國大學及京都帝國大學臨時
政府支出金ニ關スル法律案(政府提
出) 第一讀會(續)委員長報告)

第十四 大正七年法律第四號中改正法律案
(政府提出)第一讀會(續)委員長報告)

〔木下謙次郎君登壇〕

○木下謙次郎君 御付託ニ相成マシタ案件ハ三ツデアリ
マスガ、唯今議長カラ宣告致サレマシタ通り、日程第十二ヨ
リ第十四ニ至ルマデノ三件デアリマス、極メテ簡單デアリマ
スケレドモ、順次ニ委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲタイト考
ヘマス、日程第十二ハ帝國大學特別會計法中改正法律
案、是ハ御承知ノ通りデアリマスガ、帝國大學ノ豫算ノ收
支ハ特別會計法ニ依テ規定サレテ居リマスノデ、政府ノ支
出金ハ法律ニ依テ一定致シテ居ルノデスガ、此度政府ハ
本年ノ豫算ニ於テ、帝國大學ノ教授助教授ノ俸給ノ平均
増加額ヲ要求シテアリマスノト、尙ホ東京帝國大學ノ文學
部ノ中ニ、教育部ヲ設置スル費用ヲ豫算ニ要求致シテア
リマシテ、政府ノ支出金増加ノ費目ガ豫算ニ現レテ居リマ
ス、隨テ此豫算ヲ實行スル爲メニ、特別會計法ノ改正ヲ必

○議長(大岡育造君) 唯今御報告ニナリマシタ日程第
四カラ第九マデノ決ヲ採リマス、各案ノ第二讀會ヲ開クニ
御異議ハアリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ日程第四乃至第九ノ六案ノ第二讀
會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確
定セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセ
スカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

要トスル次第アリマシテ、委員會ハ三回開會致シマシテ、質問應答ノ結果、相當ノモノデアルト認メマシテ、全會一致原案ヲ可決致シタ次第アリマス、日程第十三ハ東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案デ、是ハ性質ニ於キマシテハ、日程第十二ノモノト略、同様ノモノデアリマス、日程第十二ノ方ハ經常支出デアリマス、十三ニ屬スルモノハ臨時時ノ支出ニ相成テ居ルノデアアルデアリマス、即チ東京帝國大學ノ工學部ヲ擴張スルノト、尙ホ京都帝國大學ノ工學部並ニ理學部ヲ擴張致シマス所ノ、政府ノ支出金要求ニ相成テ居ルノデアリマス隨テ單獨ノ法律制定ヲ必要トシテ本案ヲ提出致シマシタノガ、此提出ノ趣旨デアリマス、委員會ハ審議ノ結果、至極相當ナモノデアルト認メマシテ、是亦全會一致ヲ以テ可決ニ相成リマシタ、第三ノ——日程第十四ハ大正七年法律第四號中改正法律案、此大正七年法律第四號ト申シマスノハ、東京帝國大學並ニ京都帝國大學ノ判任官ノ手當俸給等ノ増額ヲ、繰入金デ爲ス所ノ規定ガ出來テ居ルノデアリマス、此度ノ改正ノ要旨ハ、判任官ノ手當ノ範圍ヲ擴張スルノト、又其外ニ諸經費ノ不足ヲ補充スル爲メノ改正案デアリマシテ、委員會ハ審議ノ結果、時局柄已ムヲ得ヌモノト認メマシテ、本案モ可決スルコトニ相成リマシタノデアリマス、以上三件トモ極メテ簡單ナル案件デアリマスカラ、ドウカ本會ニ於テモ、委員會決定通り御賛成アラシコトヲ希望致ス次第デアリマス

○議長(大岡育造君) 右三件ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ右三案ノ二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○岩崎勳君 日程第十二乃至第十四ハ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開クコトニ決シマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

帝國大學特別會計法中改正法律案

第二讀會(確定議)

東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出

金ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

大正七年法律第四號中改正法律案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ三案トモ三讀會ヲ省略シテ可決確定シタル事ヲ宣告致シマス、日程第十五、第十六ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ一括議題ト致シマス——委員長江藤哲藏君

第十五 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

第十六 北海道鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

〔江藤哲藏君登壇〕

○江藤哲藏君 吾々委員ニ付託サレマシタル鐵道敷設法中改正法律案、並ニ北海道鐵道敷設法中改正法律案、此二案ノ内容ハ、所謂紀勢線ト稱セラレマス所ノ和歌山縣和歌山ヨリ三重縣ノ相可ニ至ル鐵道、ソレカラ福岡縣ノ久留米ヨリ大分縣大分ニ至ル鐵道、此二線ヲ豫定線ニ加ヘ、而シテ此二線ヲ更ニ第一期鐵道線ニ繰入レルノデアリマス而シテ尙ホ高山富山間ヲ第一期ニ繰入レ、又房總豫定線中ノ松田勝浦間、是モ第一期線ニ繰入レル、ソレカラ四國豫定線ニ於キマシテ、琴平山田間ヲ第一期線ニ繰入レル、是ダケノコトデアリマス、次ハ北海道鐵道敷設法中改正案ノ内容ハ、釧路網走間ノ一線ヲ豫定線ト爲シ、又長萬部ヨリ輪西ニ至ル鐵道、之ヲ豫定線ト致シ、此北海道ト内地ト合シテ七線路ヲ新クニ建設スルコトヲ案デアリマス、委員會ハ三回開キマシテ、詳細緻密ニ互テ質問應答ヲ重ネ、慎重ニ審査ノ結果、悉ク原案通りニ可決スルコトヲ云フコトニ決定致シタ次第デアリマス、此段御報告致シマス

○高松正道君 議長

○議長(大岡育造君) 高松正道君

〔高松正道君登壇〕

○高松正道君 極ク簡單デアリマスルケレドモ、一言御尋致シテ置キタイト思ヒマス、和歌山、相可ニ至ル鐵道、即チ紀勢線ト申シマスルガ、此線ハ和歌山ガ起點ニナッテ居リマス、是デハ果シテ軍事上ノ目的ヲ達シ得ルデアリマセウカ、私共ノ考デハ、少クとも是ハ大阪ト云フモノニ連絡ヲシナケレバ、十分ニ此鐵道ノ目的ハ達シ得ラナイト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、和歌山ヨリ大阪ノ間ニハ、既ニ南海鐵道ト云フ鐵道ガアリマスルガ、是ハ政

府ニ於テ、將來御買上ニナル御積リデアルト云フコトヲ委員會デ承テ居リマスルガ、此御買上ノ時期ハ何時頃デアリマセウカ、之ヲ伺ヒタイノデアル、是ハ私共ハ其地方ノ住民デアリマシテ、最モ其事情ヲ存ジテ居リマス、買收ト云フコトニナリマス、其價格ノ標準ハ、利益ノ何倍ト云フコトニ略、今マデ決マテ居ルヤウデアリマス、ソレデ本議案ガ確定致シマスルト、南海鐵道ノ方デハ、近キ將來ニ於テ是ハ買收サレルモノデアアル、ソレ故ニ從來ハ南海鐵道ニ於テハ、一割ノ配當シカ出來テ居ラナクッタノデアアルガ、總テノ營業費ヲ節約致シマシテ、線路ヲ廉價ニ致シマシテ、成ベク利益ノ割合ヲ多ク致シマシテ、買收費ノ高カラシコトヲ圖ル結果、終ニハ從來ノ此線路——現在ノ線路ヲ廉價ニ致シテ買收シナケレバナラヌトキニ於テハ、既ニ其線路ハ間ニ合ハナイヤウナ破壊シタ線路ニナルヤウナ虞ガアルノデアリマス、又本鐵道ニハ電力ヲ併用致シテ居リマスルカラシテ、定メシ買收サレル時ニハ、此電力ノ方モ不可分ノ問題トシテ買收ニナルモノト存ズルノデアアル、所ガ南海鐵道ノ電力ノ中ニ、先程申ス理由ノ下ニ、南海鐵道ガ十分ノ利益ヲ舉ゲルト云フコトニ——即チ公共ト云フ性質ノ拋棄テシマツテ、利益本位ニ馳ツタ時分ニハ、非常ニ沿道ノ電燈ノ供給ヲ受ケテ居ル者ノ如キハ、迷惑ヲ致ス次第デアアル、ソレ故ニ私ハ成ベク速ニ政府ノ方ニ御買上ニナル方ガ、却テ國家ノ利益デアラウカト考ヘルノデアリマス、此點ニ對スル政府ノ御所見ヲ承テ置キタイト思フノデアリマス

〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 床次鐵道院總裁

〔政府委員床次竹二郎君登壇〕

○政府委員(床次竹二郎君) 高松君ニ御答シマス、唯今御質問ノ事ハ、結局政府ニ於テモ買收スベキモノト考ヘテ居リマス、又買收スルナラ成ベク早イガ宜カウラト思ウテ居リマス、併ナガラ一方此和歌山、相可間ノ鐵道ノ竣工致シマスルノニハ、年限ヲ要スルコトデアリ、又一方ニ於テハ此南海鐵道ガ、今御質問ノ如ク電燈事業ヲ有テ居リマスルノデ、買收調査ニ手間ヲ要シテ、今折角調査中デアアルノデ、大體左様ニ御承知ヲ願ヒマス

〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ申シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○荒川五郎君 議長

○議長(大岡育造君) 荒川五郎君

○荒川五郎君 言葉ノ端ヲ御答メスルヤウデアリマスガ、速記ニ殘テ全國民ノ耳目ニ觸レテ、異ナ感ヲ與ヘルト思ヒマスカラ御注意ヲ御願申ス、ソレハ先刻來十數回ニ互リマシテ、議長ノ御宣告ハ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ問ヒマス、ソレニ異議ナシト云フ、サウシテ異議ナケレバ二讀會ヲ開クト云フ御宣告ニナッテ居ル、二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フ意義ハ、議長ハ確定ノ宣告デハナイ、異議ガ有ルカ無イカト云フノデハナイ、二讀會ヲ開クカ否ヤト云フ御宣告デアレバ、二讀會ヲ開カレンコトヲ望ム、サウシテ直チニ二讀會ヲ開クトカ、翌日開クトカニナル、ソレニ二讀會ヲ開イテ宜イカト云フ議長ノ御宣告ナラ、異議ナシデ宜シイケレドモ、議長ノ是マデノ御宣告ハ、二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ問フ、ソレニハ異議ナシト云フコトハ意義ヲ爲サヌノデアリマス、開イテモ宜イ開カヌデモ宜イ……

○議長(大岡育造君) 荒川君、二讀會ヲ開クヘカラスト云フ議ガアツトキニハ、ソレニ議論ガアルト思フノデアリマス

○荒川五郎君 議長ガ二讀會ヲ開イテ宜イカト云フ御宣告ガアツテ、異議ナシト云フ御注意ト思ヒマス

○議長(大岡育造君) 開クニ異議ハナイカト云フノデアリマスカラ、ソレニ宜シイノデス

○荒川五郎君 二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フノハ……

○議長(大岡育造君) 荒川君ハ意味ハ分シテ居ルガ、言葉ガ足ラヌヤウニ思フト云フ御注意ト思ヒマス

○荒川五郎君 左様デス

○議長(大岡育造君) 其意味ハ私モ能ク了解シテ居リマス、此所デハ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リスルノデス

○荒川五郎君 異議ナシハ……

○議長(大岡育造君) 異議ガアレバ否ニナリマス、否ニナラトキニハ即チ開カヌノデアリマス(「イエス」ノウ「デス」ト呼フ者アリ)「イエス」ノウ「ト仰シヤルガ、ソレト同ジ意味デアリマス

○荒川五郎君 「イエス」ノウノ問デハナイ……

○議長(大岡育造君) ソレデ悪ケレバ贊否ノ事デス

○岩崎勳君 直チニ日程第十五、第十六兩案ノ第二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、可決確定セラレンコトヲ望ム、マス

〔贊成々々ノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 唯今異議ナイト云フ後ニ、更ニ岩崎君ノ動議ガアツト、思ヒマス、然ラバ直チニ兩案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リヲシマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ直チニ兩案ノ二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

鐵道敷設法中改正法律案 第二讀會(確定議)

北海道鐵道敷設法中改正法律案 第二讀會(確定議)

〔本案ニ付テ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 本案ニ就テ御異議ガナケレバ、三讀會ヲ省略シテ兩案トモ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ豫算關係ノ法律案タル裁判所ノ設立ニ關スル法律案、大正二年法律第九號中改正法律案、不動産登記法中改正法律案ヲ一括議題トシ、次ニ北海道舊土人保護法中改正法律案、及朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案ヲ各別ニ議題ト爲シ、各、第一讀會ノ續、委員長ノ報告ヲ求メ、且其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 日程變更ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ日程ハ變更セラレマシタ、裁判所ノ設立ニ關スル法律案、大正二年法律第九號中改正法律案、不動産登記法中改正法律案、之ヲ一括シテ議題ト致シテ報告ヲ求メマス

裁判所ノ設立ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

大正二年法律第九號中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

不動産登記法中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

○法學博士政尾藤吉君 議長

○議長(大岡育造君) 政尾藤吉君

〔法學博士政尾藤吉君登壇〕

〔拍手起ル〕

○法學博士政尾藤吉君 裁判所設立ニ關スル法律案外二件ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、御承知ノ通り大正二年ノ行政整理ノ際、全國ニ涉リ多數ノ區裁判所ハ廢止セラレマシタ、然ルニ其後ノ經驗ニ徴シマシテ、又其後地方ノ發達ニ依リマシテ、廢止シタル區裁判所ヲ復活スル必要ノ場所モアリマスルシ、又新ニ區裁判所ヲ設ケル必要ノ起リタル場所モアリマスルノデ、ソレ故ニ昨年ノ第四十讀會ノ際ニ廢止ニナリマシタル區裁判所六十四箇所ハ、

復活ニナラヌデアリマス、此度ノ案ハ尚ホ三十一箇所ノ復活、又ハ新設ニ關スルモノデアリマス、ソレカラモウ一件ハ此區裁判所ノ復活又ハ新設二件ヒマシテ、復活サレタリ、又ハ新設サレタリシタル所ノ區裁判所ニ依リテ、別表即チ現ニ存シテ居リマスル所ノ區裁判所ノ管轄ガ變リマスルノデ、其管轄ヲ決メル所ノ別表ノ改正ノ必要ガ起リマス、ソレガ一ツ、ソレカラモウ一件ハ區裁判所ノ復活又ハ新設二件ヒマシテ、登記事務ノ廢合ノ必要ガ起リマス、ソレハ新ニ出來マシタル所ノ區裁判所、又ハ其區裁判所ノ出張所トシテ出來マスル所ノ登記所、其登記所ノハツレノ界ニアリマスル所ノ地方ノ者ニ取リマシテハ、隣ノ登記所ヘ行ク方ガ、餘程便利デアルト云フ場合ガアルデアリマス、其場合ニ於キマシテハ、司法大臣ハ省令ヲ以テ、一ノ登記所ノ管轄ニ屬スル事務ヲ他ノ登記所ニ委任スルコトヲ得ト、斯ウ云フ風ニ不動産登記法中ノ第八條ノ一ヲ改正致シマス、サウ云フ必要ガ起ルデアリマス、此三件ハ何レモ委員會ニ於キマシテ、慎重ナル審議ヲ遂ゲマシタル結果、大多數ヲ以テ原案通り可決致シマシタデアリマス、何卒諸君ニ於カレマシテモ、大多數ヲ以テ可決アラント希望致シマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 裁判所ノ設立及大正二年法律第九號中改正案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リシマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ裁判所ノ設立ニ關スル法律案及大正二年法律第九號中改正法律案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ム、マス

○議長(大岡育造君) 右二案ノ第二讀會ヲ直チニ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ直チニ第二讀會ヲ開キマス、修正ノ提議ガアリマス、高田耘平君

〔高田耘平君登壇〕

〔拍手起ル〕

○高田耘平君 私ハ唯今第二讀會ノ議ニ上ッテ居ル裁判所ノ設立ニ關スル法律案外一件ニ付キマシテ、修正ノ動議ヲ提出致シマス、修正ノ箇所ハ裁判所ノ設立ニ關スル法律案中第五項「栃木縣足利郡足利町ニ區裁判所ヲ置キ之ヲ足

利區裁判所ト稱ス「トアル」ヲ「栃木縣安蘇郡佐野町」ニ區裁判所ヲ置キ之ヲ「佐野區裁判所」ト稱ス「斯ウ」云フコトノ修正デゴザイマス、即チ足利町ニ新設スベキコトヨリモ、佐野町ニ復舊スベキハ當然デアルト云フノデアリマス、此第五項ノ外ニ於キマシテハ、全部原案ニ賛成デアリマス、唯今ノ法律ノ修正ノ結果ト致シマシテ、大正二年法律第九號中改正法律案中「同表中ノ「栃木區裁判所」項ヲ左ノ如ク改ム」ノ中「足利」トアリマスノ「佐野」ト修正スルノデゴザイマス、其他原案ノ通りデゴザイマス、此問題ハ、御承知ノ通りニ昨年ノ請願委員會ノ本會議ニ於キマシテ、私ガ佐野ノ區裁判所ヲ復活スルコトニ請願委員會ガ容レマシテ、本會議ガ否決スルトキニ、私ハ佐野區裁判所復活ガ當然デアルト云フコトヲ主張シタ問題デゴザイマス、即チ前年來深キ關係ノアル問題デアリマスルガ故ニ、而シテ區裁判所ノ位置ニ關スル事トハ雖モ、苟モ最モ嚴正公平ヲ尙フベキ司法當局者ノ發案ニ係ル問題デゴザイマス、之ヲ唯一區裁判所ノ問題トシテ、輕々ニ看過スルコトガ出來ナイ立場ニ相成テ居ルノデゴザイマス、私ハ此修正ノ理由トシテ、第一第二第三ヲ數ヘヤウト思ヒマス、第一ノ理由ハ即チ政府ガ本案、此區裁判所ノ設立ニ關スル法律案提案ノ主ナル理由由ニ基テデゴザイマス、第二ハ此佐野ノ復活ガ當然デアルト云フ歴史上ノ理由ヨリデゴザイマス、第三ハ土地ノ便否ノ關係ヨリデゴザイマス、此三點ヨリ修正説ガ是ナリト信ズル者デアリマス、今第一ノ理由ヲ申上ゲマスレバ、過般此法律案提出ノ時ニ、前川虎造君ガ政府ニ向テ質問ヲ致シテアリマス、其質問ノ要旨ハ、提出ノ理由トシテ、政府ハ交通ノ便否ニ鑑ミ提出シタ云フコトガ書イテアル、併ナガラ交通ノ便否ヲ願ミナイ所ガ多クアル、是ハドウ云フ譯デアルト云フ質問ノヤウニ記憶シテ居リマス、其質問ニ對シマシテ、其當時ノ政府委員鈴木司法次官ハ、斯ウ云フ御答ヲシテデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ免ニモ角ニモ廢止セラレタル區裁判所ヲ復活シタル後事情ノ變化モ定マツタ曉ニ於テ整理シナケレバナラスモノト御答申シテ置イタ次第デアリマス、今日ニ於キマシテモ尙ホ其考ヲ持テ居ルノデゴザイマス、斯ウ云フ立派ナル御答デゴザイマス、即チ政府當局者ハ、飽マデモ復活スルモノデアルト云フコトノ意見デゴザイマス、土地ノ便否ハ果シテ後日ニ至ラデ整理スベキモノデアルト云フコトハ、明カニ鈴木司法次官ガ御答ニナラデ居ル、此理由ニ依リマシテ、私ハ佐野ノ區裁判所ヲ復活スベキモノヲ足利ニ新設スルコト云フコトハ、政府當局者ガ此裁判所復活ニ關スル法律案ヲ提出スル趣旨ニ、反イタモノデアルト云フコトヲ斷言スルノデゴザイマス、即チ私ガ修正説ヲ提出致シマスルノハ、政府當局者ノ意見ト同一ノ理由ヲ

以テ、此修正説ヲ提出スルノデアルト云フコトヲ第一ニ申上ゲテ置キマス、尙ホソコデ申上ゲテ置キタイ事ハ、即チ今日マデ既ニ復活サレマシタモノガ六十四、今回ノ御提案ニ係ルモノガ三十二ト記憶シテ居リマス、此九十何箇所ノ中デ、新設ニ係ルモノハ何箇所アルヤト政府ニ質問スレバ、北海道ニ於テ二箇所アルノミデ、他ニ一箇所ノ新設ハ無イ、後トハ全部復活デアルト云フコトヲ、委員會ニ於テ言テアリマス、サウスレバ全然復活デアラ、新設ト云フコトハ他ニ一箇所モ無イ、即チ栃木縣ニ於テ唯、佐野ニ復活スベキヲ、足利ニ新設シタイト云フニ過ギナイノデアリマス、ソレカラ第二ニ歴史上ノ問題デアリマス、此佐野區裁判所ガ廢サレマシタ以來、年々復活ノ請願ガ貴衆兩院ニ向テ、安蘇郡及足利郡ノ各町村長ヨリ連署ヲ以テ提出サレタノデアリマス、而シテ貴族院ニ於テハ、第四十議會ニ於キマシテサレテ居ルノデアリマス、我衆議院ニ於キマシテハ、三十九帝國議會以來滿場一致ヲ以テ採擇サレタノデアリマス、第四十議會ニ於キマシテモ、請願委員會ニ於テハ、滿場一致ヲ以テ佐野ニ復活スベシト、請願ガ採擇ニナラ居ル、然ルニ何ガ爲メカ知ラヌケレドモ、本會ニ於テ採擇ト決シタルハ諸君御承知ノ通りデアリマス、即チ歴史上ヨリ申シマスレバ、佐野ニ復活スベキガ當然デアルトニ、唯、本會ニ於テ、第四十議會ニ此請願ニ關シテ、本會ガ無法ニ採擇ニ決シタト云フノ外アリマセヌノデアリマス、然レバ本年ハドウデアルト云フテ見ルト、本年ハ佐野足利兩町ヨリ、別々ニ裁判所ヲ設ケテ吳レト云フ請願ガ出タノデアリマス、此請願ニ對シマシテ、此間ノ委員會ガ如何ナル決定ヲ與ヘルカト云ヘバ、兩請願トモ、之ヲ參考トシテ政府ニ送付スベシト云フコトノ決定ヲ見タヤウデアリマス、私ハ之ヲ見テ益々昨午本會ニ於テ採擇ニシタト云フコトガ、不自然ノモノデアルト云フコトヲ斷言スルニ憚ラヌノデアリマス(拍手スル者アリ)若シ昨年請願委員會ニ於テ可決シタモノヲ、本會ニ於テ採擇トスベキ程重大ナル理由ガアタナラバ、何ゼ此二三日前ノ請願委員會ニ於キマシテ、兩案トモ政府參考ト致シマシタノデゴザイマセウカ、何故佐野ノ方ヲ採擇ト決シナイカ、甚ダ不徹底ノ請願委員會ト存ジマス、然レバ殘ル理由ハ、昨年ハ佐野復活ノ請願ノ紹介議員ハ、本員及大津淳一郎君、共ニ憲政會ニ屬スル者ノ提案デアラガ故ニ、之ヲ採擇ニ決シタノデゴザイマセウカ、本年ハ佐野ノ區裁判所ヲ復活スベキ請願ノ紹介議員ハ、政府與黨ノ大多數ヲ有スル政友會所屬ノ佐野ノ住人秋山金也君デアラガ爲メニ、之ヲ參考送付ト云フコトニ致シタノデゴザイマセウカ、私ハ甚ダ請願委員會ノ諸君ノ、昨年ト今年トニ

於ケル態度ノ變更ニ驚クモノデゴザイマス、詰マリ本會ニ於キマシテ採擇ニ決シタト云フコトハ、其時ヲ一時ノ出來事デアリマス、其證據ニハ、本年政友會ノ諸君ガ多數ヲ占メテ居ル請願委員會ニ於キマシテ、參考送付トシテ兩案共ニ政府ニ送付コトハ、明カナル證據デアルト私ハ思フノデアリマス、故ニ此問題ハ歴史上ヨリ致シテ、殊ニ本院ノ院議ヲ重ズル上ニ於テ、殊ニ請願委員會ノ決議ヲ重ズル上ニ於テ、佐野ニ復活スベキガ當然ノ理由デアルト信ズルノデアリマス、更ニ第三ハ交通ノ便否ノ問題デアリマス、此問題ニ付キマシテモ、委員會ノ時ニ政府ニ質問シタ所、斯ウ云フ御答デゴザイマス、「佐野足利ノ一團トナラデ一管轄區域デアレバ免モ角モ今度ハ上都賀郡ノ足尾町ヲ其區域ニ編入シタガ爲メニ地理上足尾町ヲ編入スルト足利町ガ中心デアラ故ニ佐野ニ復活セズ足利ニ新設シタノデアラ」斯ウ云フ御答辯デアリマシタ、併ナガラ是ハ唯、土地ノ中心ガ足利デアルト云フコトノミデアリマス、眞ニ土地ノ便否ト云フコトニ考慮ノ及バナイ問題デアリマス、少シク事ガ細クナリマスケレドモ、勢ヒ申上ゲザルヲ得ナイノデアリマス、佐野ト足利トノ間ノ距離ハ、汽車哩ニ致シマシテ僅カテ、時間ハ八九分間デアリマス、ソコニ地理上カラ行キマスルト云フト、足利ノ町ノ人及足利郡ニ屬スル人ハ、凡テ如何ナル邊隅ニ居ル人デモ、足利郡ニ居ル人ハ假令佐野町ニ區裁判所ガ出來ルトシテ、其日ニ往復ガ出來得ルノデゴザイマス、而シテ足尾ガ管轄ニ編入サレテ、サウシテ足尾町ノ人モ一日ニ佐野町ニ往復シ得ルノデアリマス、所ガ若シ之ヲ足利町ト致シマスレバ、此地方ノ重要都市タル葛生町、及之ニ接壤シタル數多ノ町村ノ人ガ、到底足利町ニ其日ニ往復ガ出來ナイト云フ事情ガゴザイマス、是ハ一寸疑問トセラレ、デアリマセウカ、東武鐵道トノ關係、前橋小山間ノ汽車時間ノ關係ヨリ、確ニサウニ云フ結果ニナラデ居ルノデゴザイマス、即チ土地ノ便否ヨリ申シマスレバ、佐野町デアレバ安蘇郡、足利郡、足尾町ノ總テノ人ガ、其日ニ裁判所ノ用件ヲ濟マシテ、其日ニ往復スルコトガ出來ル、若シ之ヲ足利ト致シマスレバ、安蘇郡ノ北部一般ハ、其日ニ往復シ能ハザルノ地勢ニ在ルト云フコトヲ御了承ヲ請ヒタイノデアリマス、即チ土地ノ便否ヨリ申シマスレバ、明ニ足利町ニ置クヨリモ、佐野町ニ置クベキコトガ、管轄區域全般ニ涉ラテ、最モ至便ノ地ニ在ルト云フコトヲ御了承ヲ請ヒタイノデアリマス、以上ノ通りデゴザイマスレバ、土地ノ便否ヨリ鑑ミマシテモ、當然佐野町ニ復舊スベキモノデアルト私ハ信ズルノデゴザイマス、殊ニ又佐野町ニハ裁判所ノ敷地及建物ガ、尙ホ存在シテ居ルノデゴザイマス、而シテ其土地ノ人ノ寄附ニ依リタモノデアルト云フコトヲ御了承ヲ請ヒタイノデゴザイマ

ス、以上土地ノ便否ヨリ、本問題ノ歴史ヨリ、政府ガ裁判所ニ關スル法律案ヲ提出シマスル根本ノ理由ヨリ、總テヨリ論ジマシテ、ドウ致シテモ足利ニ新設スルヨリモ、寧ロ佐野ニ復活スベキガ當然デアルト云フ結論ニ歸著致スノデゴザイマス、私ハ斯様ナル理由ヲ以テ修正案ヲ提出スル次第デゴザイマス、事甚ダ小ナレドモ、苟モ嚴正公平ヲ尚ブベキ司法當局ノ立案ニ係ル問題デアリマスカラ、名ヲ復活ニ精リテ新設ヲ爲シ——其間ニ於テ新設スベキ理由ナキニ拘ラズ名ヲ復活ニ精リテ新設ヲ企テルト云フコトハ、司法當局者トシテ執ルベキコトデハナカラウト思ヒマス、即チ佐野町ヲ復活スルコトハ、政府當然ノ事トシテ爲スベキモノデアッテ足利ニ新設スルコトハ誤ッテ居ルト云フコトヲ、私ハ論斷スルニ憚ラヌデアリマス、ドウソ満場ノ諸君モ御賛成アラシコトヲ深ク希望致シマス

○議長(大岡育造君) 武勝金吉君

〔拍手スル者アリ〕

○武勝金吉君 裁判所設置ニ關スル法律案中、唯今栃木縣足利郡足利町ニ區裁判所ヲ置キ、之ヲ足利區裁判所ト稱スルト云フ原案ニ對シ、佐野町ニ置イテ之ヲ佐野區裁判所ニ修正スルト云フ高田君ノ修正意見ニ反對ヲ致シマシテ、政府案ニ贊成ノ意見ヲ述ベタイト思フデアリマス、諸君、此足利ト佐野ノ問題ハ、昨年ノ本議場ニ於テ問題トナタノデアリマシテ、其要點ハ四十議會ニ於テ論議シ盡サレテ居リマスガ、唯今高田君ノ御熱心ナル修正ノ御意見ガアリマシタカラ、甚ダ申スマデモナイ事デアルト思ヒマスケレドモ、之ニ對シテ御答ヲスルト云フコトモ、亦已ムヲ得ザル事ト考ヘルデアリマス、先ヅ此足利ト佐野ニ置ク利害便否ノコトヲ判斷スルト致シマスレバ、此足利安蘇ノ二郡ノ關係、及此地方ノ民情、風俗、産業、裁判事項等ニ付テ數字ヲ一讀シマスレバ、外ノ理由ハ説明ヲセヌデモ解決ガ著キサウニ思ヒマス、政府ガ見ル所アッテ佐野ニ區裁判所ヲ復活シナイデ、足利ニ置クコトハ、洵ニ現在ノ民情ヲ穿ッテ適當ナル處置デアルト私ハ信ズルデアリマス、試ニ足利ト安蘇ノ戶數ヲ算ヘマスレバ、足利郡ハ一万六千四百八十九戸デアリマス、安蘇郡ハ一万三千九百一十一戸デアリマス、又人口ヲ算ヘマスレバ、足利郡ハ十萬六千二百九十七人、安蘇郡ハ九萬三千四百〇九人、又直接國稅ノ納付額ヲ算ヘマスレバ、足利郡ハ二十三萬五千九百四十圓四十二錢、安蘇郡ハ十八萬六千六百一十二圓、又間接國稅ニ至リマシテハ、足利郡ハ六十四萬二千二百三十圓、安蘇郡ハ僅ニ二十五萬二千五百二十一圓シカナイ、又縣稅ニ於キマシテモ、足利郡ハ十六萬四千四百二十八圓十七

錢アル、安蘇郡ハ十三萬八千八百八十圓九十七錢アル、更ニ此兩郡ノ生産力ヲ、大正四年五年六年ノ統計ヲ平均致シマシタモノ、數字ヲ舉ゲマスレバ、足利郡ハ三千八百二十八萬〇百八十二圓ニ上ッテ居ル、安蘇郡ハ僅ニ三千四百七十五萬七千四百一十一圓デアアル、更ニ大正七年度ノ此額ハ、足利郡ハ四千萬圓ヲ越ヘテ居リマス、安蘇郡ハ其割合ニ上ッテ居リマセヌ、又本問題ニ最モ關係ヲ有スル裁判事件ヲ申上ゲマスレバ、民刑裁判件數ハ、足利郡ニ於テ千八百八十八件ヲ今マデ裁判所ガ無クテモ算ヘテ居リマス、安蘇郡ハ九百四十九件ヲ算ヘテ居リマス、更ニ此度政府ノ提案ニハ、此足利町ヲ加ヘテ足利町ヲ中心トシテヤルト云フデアリマスカラ、足利町ノ唯今算ヘマシタ件數ニ、足利町ノ裁判事件ノ件數ヲ加ヘマスルト、足利町ハ五百八十一件デアリマス、五百八十一件ト八百九十九件デアリマスカラ、是ハ千四百件ニ對シテ、佐野町ハ六百件シカ無イ、此件數ニ對シテ裁判所ヲ置クコト云フコトハ見ナケレバナラス、又生産狀況カラモ之ヲ見ナケレバナラス、斯ノ如ク戶數ノ點カラ言デモ、納稅ノ點カラ言デモ、人口戶數ノ點カラ言デモ便利ノ良イ澤山ノ人ノ便利ヲスル所ニ裁判所ヲ擇ベト云フコトハ、先ヅ此數字ニ依リマシタルケデモ、結論ヲ得ルコトト思フデアリマス、何事ゾ、高田君ハ非常ニ熱狂シテ、愚ニモ付カナイ言ッテハ失禮デアリマスケレドモ、今日交通ノ便否ガドウダトカ、復活シナケレバナラストカ、或ハ歴史ガ斯ウダトカ、或ハ土地ノ狀況ガドウダトカ云フ御話ガアリマシタガ、是ヨリ高田君ノ御述ニナタ事ニ御答ヲ致シマスレバ、先ヅ此議院ノ請願ハ——御承知ノ通り本年ノ裁判所復活ノ請願ハ、佐野町安蘇郡各町村カラ出テ居リマス、又足利郡ノ請願ハ、足利郡各町村及足尾町カラ出テ居リマス、此足利町ニ置クコト云フ請願ハ、私ガ紹介ヲ致シマシタ此二案ハ、請願委員會ニ於キマシテハ、兩案共ニ此法律案ガ出テ居ルカラ、法律案ノ委員會ニ、之ヲ尊重致シマシテ送付スルト云フコトニナタテ居リマス、請願委員會ガ何モ政府ノ參考トシタノデナイ、即チ此議題ニナタテ居ル法律案ノ委員會ニ送付サレタノデアリマス、サウシテ此案ガ決ッテ譯デアリマシテ、何モ高田君ノ仰シヤルヤウナ次第ニシタノデアリマセヌカラ、高田君ノ今安ニ御述ニナタ事ハ、間違テアルト云フコトヲ私ハ申上ゲル、又歴史々々ト申シマスルガ、歴史ト云フモノハ請願ヲ一昨年マデ——三十九議會マデ、足利ト佐野ハ一緒ニナタテ居ッテ、今度別レテ別ニヤルカラト云ッテ、何モ去ッテ女房ガ何處ニ行カウト、別レテ時ニ別レナイ時ノコトヲ繰返シテ言フコトハ、殆ド愚痴ニ類スル事デアアル、先ヅ高田君ノ議論ト云フモノハ、最モ其中ノ骨子トナッテ居ルハ、僅カ佐野ト足利ノ間ハ三里シカナイ、汽車ノ時間デ

○議長(大岡育造君) 武勝金吉君

〔拍手スル者アリ〕

十九分間デ行ッテ、足尾カラ來テモ足利カラ行ッテモ差支ナイデナイカト言フガ、其議論ハ、此方ノ私ノ方ニ拜借シテ佐野ノ方ノ少數ノ方カラ、生産力ガ少ナイカラ、足利ニ御出ニナッテ宜シイト云フコトニナルデアリマス、況ヤ足尾カラ來マスルニハ、十九分間先キニ行カケレバナラス、又歸リノコトヲ云フト十九分間デ、三十八分掛ル譯デアリマス、又葛生町其他ノ村落カラ來ラレナイ、昨年ハ一晚泊リデナケレバ、來ラレヌト言ハレタガ、唯今ハ大變不便ダト云フコトダケニ御止メニナタタガ、幾ラカ同縣デアルカラ彼ノ邊ノ事情ヲ御聞合ニナタト見エル、私ハ縣ガ違ヒマスケレドモ、渡良瀬川ヲ隔テ、此安蘇足利ノ治水ノ關係上、取引ノ關係上、高田君ヨリ委シイノデ、能ク知ッテ居ルノデス(田沼町ハドウダト呼フ者アリ)能クサウ云フ苦シクナッテモ、其誹謗ノコトハ餘リ面白クナイ、斯ウ云フ議論ヲ以テ立派ナル議論ニ對抗スルト云フガ如キコトハ、到底是ハ本會ニ於キマシテ容レルコトガ出來マイト思フ、之ヲ要スルニ政府ノ原案ハ頗ル宜シイモノデアリマシテ、全國中大抵復活ニナタタガ、此佐野區裁判所ヲ復活セズシテ、足利ニ新設ヲシタト云フガ如キ事ハ、司法行政ノ私ハ一大進歩デアルト思フデアリマス、然レバ是ト共ニ今後ニ於キマシテハ、此汽車ガ出來タリ、道路ガ出來タリ、交通ノ便ガ出來マシタナラバ、矢張司法行政ノ上ニ於キマシテ、モウ斯様ナ方法ハ各所ニ起ルコト、信ジマシテ、原案ヲ贊成致シマシテ、遺憾ナガラ高田君ノ修正意見ニ反對ヲスル次第デアリマス、之ヲ以テ——〔拍手起ル〕

○修正案反對〔修正論者顔色ナシ〕何ガ顔色ナシダト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 別ニ討論ノ申出モアリマセヌカラ、先ヅ高田君ノ修正ニ贊成諸君ノ起立ヲ求メル順序ヲ取りマス、高田君ノ修正動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數デアリマス、否決

○岩崎勳君 議長

○議長(大岡育造君) 岩崎君、何デスカ

○岩崎勳君 此兩案ハ三議會ヲ省略シテ、委員長報告通り即チ原案通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 此大正二年法律第九號中ニモ修正ノ申出ガアリマスカラ、是ハ別々ニ採ラザルヲ得ヌヤウニ思ヒマス

○岩崎勳君 左様デスカ

○議長(大岡育造君) 先ヅ裁判所ノ設立ニ關スル法律案ノ修正動議ノミヲ諮リマシタ、此方ノ決議ヲ終ッテ後ニ

○議長(大岡育造君) 武勝金吉君

〔拍手スル者アリ〕

○岩崎勳君 左様デスカ

○議長(大岡育造君) 先ヅ裁判所ノ設立ニ關スル法律案ノ修正動議ノミヲ諮リマシタ、此方ノ決議ヲ終ッテ後ニ

又次ノ案ニ移リマス、裁判所ノ設立ニ關スル法律案ハ二讀會ノ通りテ他ニ御異議ハ無イノデズカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 然ラバ裁判所設立ノ案ハ三讀會ヲ省略シテ可決確定シタルコトヲ宣言致シマス——高田君ニ御諮リ申シマスガ、大正二年法律第九號中ノ修正勅令ハ相變ラズ御維持ナサルカ

○高田君 止シマセウ

○議長(大岡育造君) 修正ハ撤回ニナリマシタ、即チ大正二年法律第九號中ノ修正ハ撤回ニナリマシタ、就テハ同案ニ對シ岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ三讀會ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス

○岩崎勳君 次ニ直チニ不動產登記法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 不動產登記法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮リマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ノ二讀會ヲ開クニ決シマシタ——御異議ガナケレバ直チニ第二讀會ヲ開キマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

不動產登記法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 本案ニ御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ岩崎君ノ動議ノ如ク、三讀會ヲ省略シテ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、此際特ニ一言致シテ置キマスガ、本日ハ私少シ口中ニ障リガアリマス、宣告ノ仕方ガ如何ニモ緩イ、少々勘辯シテ御聽取ヲ願ヒマス——北海道舊土人保護法中改正法律案ノ第一讀會ノ續キマス——委員長佐々木平次郎君

北海道舊土人保護法中改正法律案(政府提)

〔佐々木平次郎君登壇〕

○佐々木平次郎君 唯今議題ニ上テ居リマス北海道舊土人保護法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ前後三回ニ互リマシテ會議ヲ開イタノデアリマス、政府委員ハ詳細ナル説明ヲ致サレ、委員諸氏ニ於カレマシテハ質問應答ヲ重ネラレタノデアリマス、本案ノ要旨ハ極メテ簡單デアアルノデアリマシテ、從來此北海道ノ舊土人ヲ保護スル所ノ法律ハ、制定サレテアルノデアリマスガ、更ニ其法律ノ内容ニ一歩ヲ進メテ、最も有效ニ便宜ヲ與ヘヤウト云フノ外ナラヌノデアリマス、即チ要點ヲ擧ゲマスレバ、天災其他ノ事由ニ依テ傷痍ヲ受ケ、若クハ疾病ニ罹リタ時ニ當テ、自費ヲ以テ治療スルコトノ出来ナイ者ニ對シテ救済シ、又之ニ藥價ヲ與ヘヤウトスルノデアリマス、聞ク所ニ依リマスレバ、現在ノ北海道ニ於ケル舊土人ハ、約一万八千人程居ルサウデアリマス、而シテ最近ニ至リマシテ、死亡率ハ此内地ノ人ニ較ベマスルト云フト、比較的多イノデアリマス、又衛生狀態モ極メテ不良デアアルノデアリマス、之ガ救済又ハ救済ノ規定ヲ加ヘルト云フコトハ、人道ノ上カラ言ヒマシテモ、最も緊要ノ案デアアルト云フコトニ於キマシテ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ原案ヲ可決シタノデアリマス、此段御報告申上ゲマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十七、第十八ハ同一委員ニ付託シタル關聯シタル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十七、第十八ハ同一委員ニ付託シタル關聯シタル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

道ノ舊土人ヲ保護スル所ノ法律ハ、制定サレテアルノデアリマスガ、更ニ其法律ノ内容ニ一歩ヲ進メテ、最も有效ニ便宜ヲ與ヘヤウト云フノ外ナラヌノデアリマス、即チ要點ヲ擧ゲマスレバ、天災其他ノ事由ニ依テ傷痍ヲ受ケ、若クハ疾病ニ罹リタ時ニ當テ、自費ヲ以テ治療スルコトノ出来ナイ者ニ對シテ救済シ、又之ニ藥價ヲ與ヘヤウトスルノデアリマス、聞ク所ニ依リマスレバ、現在ノ北海道ニ於ケル舊土人ハ、約一万八千人程居ルサウデアリマス、而シテ最近ニ至リマシテ、死亡率ハ此内地ノ人ニ較ベマスルト云フト、比較的多イノデアリマス、又衛生狀態モ極メテ不良デアアルノデアリマス、之ガ救済又ハ救済ノ規定ヲ加ヘルト云フコトハ、人道ノ上カラ言ヒマシテモ、最も緊要ノ案デアアルト云フコトニ於キマシテ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ原案ヲ可決シタノデアリマス、此段御報告申上ゲマス

○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、次ニ朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案ノ第一讀會ノ續キマス——委員長山根正次君

〔山根正次君登壇〕

○山根正次君 朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、委員會ヲ開キマスコト一回、政府委員モ出ラレマシテ、サウシテ之ガ説明ヲナサレマシタ、サウシテ之ガ原案通り可決確定ヲ致シタノデアリマス、右御報告ヲ致シマス、ドウカ委員會ノ通りニ可決確定セラレンコトヲ希望致シマス

○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十七、第十八ハ同一委員ニ付託シタル關聯シタル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十七、第十八ハ同一委員ニ付託シタル關聯シタル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十七、第十八ハ同一委員ニ付託シタル關聯シタル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十七、第十八ハ同一委員ニ付託シタル關聯シタル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十七、第十八ハ同一委員ニ付託シタル關聯シタル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十七、第十八ハ同一委員ニ付託シタル關聯シタル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ一括議題ト致シマス——委員長松井文太郎君

第十七 家祿賞典祿處分ニ關スル法律案(川原茂輔君外十六名提出)

第十八 沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル家祿賞典祿處分ニ關スル法律案(川原茂輔君外十六名提出)

〔松井文太郎君登壇〕

○松井文太郎君 日程第十七、家祿賞典祿處分ニ關スル法律案外一件ノ委員會ノ經過、並ニ結果ヲ御報告ヲ致シマス、本案ハ屢、本院ニ於キマシテ論議致サレマシタ、殊ニ第三十七議會並ニ第四十議會ニ於キマシテハ、既ニ可決セラレタ案デアリマスニ依リテ、本案ノ内容ノ説明ハ省略ヲ致シマス、併ナガラ何時モ政府ハ此兩案ニ對シマシテ、反對ノ意思ヲ表明致サレマシテ、常ニ成立ヲ致サナカッタデアリマス、委員會ハ政府ノ意思ノ在所ヲ十分ニ質シマシテ、慎重ニ審議ヲ致シマシタ結果、家祿賞典祿處分ニ關スル法律案ハ、原案ノ儘可決ヲ致シタノデアリマス、沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對シ賞典祿處分ニ關スル法律案ハ修正ヲ致シマシタ、沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル家祿賞典祿處分ニ關スル法律案トアリマスノ、沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル給與處分ニ關スル法律案ト修正シ、第一條中ニ「家祿賞典祿處分法ヲ準用シ同法ニ依リ」トアリマスノ「家祿賞典祿處分法並明治三十二年法律第八十四號家祿賞典祿處分法施行法ヲ準用シ祿高整理ノ爲」ト修正シタノデアリマス、隨テ理由ヲ改メラレタ、即チ明治三十七年法律第二十號ニ依リ特別給與處分ニ對シ、明治三十七年法律第二十號ニ依リ特別給與處分ヲ準用シテ願出ヲ爲サシメ、尙ホ之ニ對シ行政訴訟ノ途ヲ開クノ必要アリト、斯様ノ意味ニ致シマシテ、委員會ハ審議ノ結果此修正案ヲ以テ全會一致ヲ以テ可決シタルデアリマス、而シテ政府ハ家祿賞典祿處分ニ關スル法律案ハ、昨年モ本院ガ可決ヲ致シマシタ案ヨリハ、御提出者ノ川原君ガ御説明ノ如ク、本年ハ幾分ノ修正ヲ加ヘラレマシテ御提案ニナラレタノデアリマスニ依リテ、政府ハ原案ノ通り同意ノ旨ヲ言明ナサレタノデアリマス、又沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對シ家祿賞典祿處分ニ關スル法律案ニ對シマシテハ、政府ハ斯様ニ申サレタノデアリマス、復族ヲ致シマスレバ直チニ復祿スルモノ

〔議長大岡育造君退席副議長濱田國松君議長席ニ著ク〕

○松井文太郎君 日程第十七、家祿賞典祿處分ニ關スル法律案外一件ノ委員會ノ經過、並ニ結果ヲ御報告ヲ致シマス、本案ハ屢、本院ニ於キマシテ論議致サレマシタ、殊ニ第三十七議會並ニ第四十議會ニ於キマシテハ、既ニ可決セラレタ案デアリマスニ依リテ、本案ノ内容ノ説明ハ省略ヲ致シマス、併ナガラ何時モ政府ハ此兩案ニ對シマシテ、反對ノ意思ヲ表明致サレマシテ、常ニ成立ヲ致サナカッタデアリマス、委員會ハ政府ノ意思ノ在所ヲ十分ニ質シマシテ、慎重ニ審議ヲ致シマシタ結果、家祿賞典祿處分ニ關スル法律案ハ、原案ノ儘可決ヲ致シタノデアリマス、沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對シ賞典祿處分ニ關スル法律案ハ修正ヲ致シマシタ、沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル家祿賞典祿處分ニ關スル法律案トアリマスノ、沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル給與處分ニ關スル法律案ト修正シ、第一條中ニ「家祿賞典祿處分法ヲ準用シ同法ニ依リ」トアリマスノ「家祿賞典祿處分法並明治三十二年法律第八十四號家祿賞典祿處分法施行法ヲ準用シ祿高整理ノ爲」ト修正シタノデアリマス、隨テ理由ヲ改メラレタ、即チ明治三十七年法律第二十號ニ依リ特別給與處分ニ對シ、明治三十七年法律第二十號ニ依リ特別給與處分ヲ準用シテ願出ヲ爲サシメ、尙ホ之ニ對シ行政訴訟ノ途ヲ開クノ必要アリト、斯様ノ意味ニ致シマシテ、委員會ハ審議ノ結果此修正案ヲ以テ全會一致ヲ以テ可決シタルデアリマス、而シテ政府ハ家祿賞典祿處分ニ關スル法律案ハ、昨年モ本院ガ可決ヲ致シマシタ案ヨリハ、御提出者ノ川原君ガ御説明ノ如ク、本年ハ幾分ノ修正ヲ加ヘラレマシテ御提案ニナラレタノデアリマスニ依リテ、政府ハ原案ノ通り同意ノ旨ヲ言明ナサレタノデアリマス、又沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對シ家祿賞典祿處分ニ關スル法律案ニ對シマシテハ、政府ハ斯様ニ申サレタノデアリマス、復族ヲ致シマスレバ直チニ復祿スルモノ

トハ解シテハ居ラス、併ナガラ給與基準タル所ノ祿高ニ付テ取調ニ不十分ガアルトカ、又ハ錯誤ノ點ガアテ、給與額ニ不權衡ヲ生ズルト云フコトハ、實ニ氣ノ毒ナク次第アル、此不權衡ヲ救済スル意味ニ於テ、此修正案ニ同意スル、又此處分ニ對シ行政訴訟ノ途ヲ開クコトニモ異議ガナイ、以上ノ意味ニ於テ此修正案ニ政府ハ同意スルコトヲ言明爲サレタノデアリマス、尙又政府ハ此法律案即チ兩院ヲ通過致シマシテ成案トナリマシタ際ハ、之ヲ以テ家祿賞典ニ對スル最終ノ救済ト致ス意味ニ於テ、特ニ同意ヲ致スト云フコトヲ附言致サレタノデアリマス、本案ニ於キマシテモ、委員會可決ノ修正案ハ、其實行ノ上ニ於キマシテハ、御提出者ノ御提出ノ意味ト變リモアリマセヌ、又本院ニ於キマシテハ、再三可決ヲ致サレ、尙ホ連年請願者ノ請願ヲ御採擇ナサレタ所ノ意味ニ於キマシテ、實質上同一ノ目的ノ達シ得ラレマスモ、デアルト信ジマスカラ、委員會可決ノ通り、本院ニ於テモ速ニ可決セラレンコトヲ希望致シマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ本案ノ二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ本案ノ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

シテ委員長報告通り、即チ委員會修正議決通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

テ、概括シテ大體カヲ言ヘバ、今日ノ大勢ノ推移ヲ待ツ、暫ク手ハ著ケラレヌト云フコトハ確カナ事實デアアル、誰ガヤテモソレデアアル、ソレデ大勢推移ト云ヘバ申スマデモナク、歐羅巴ノ大戦カラ生ジテ來ル所ノ影響、ソレカラ現ニ講和會議ガアリマスガ、講和會議ガ如何ニ結束スルカハ、此結局ニ於テ如何ナル影響ガ及ボスカ、確ニ重大ノ影響ヲ及ボシテ來ルノデアリマス、ソレデ此二ツノ原因カラ生ジテ來ル大勢ノ推移、略、大勢ノ見据ノ著クマデハ、根本的ノ改革ニハ手ハ著ケラレヌト云フ事ハ、是ハ御尤ト考ヘナケレバナラス、之ヲ御尤トスルト、此議會後ニ次ノ年度マデ内閣ガ改革サレルト云フノデアリマスカ、是マデ内閣ノ行政ノ有様デハ餘程困難デアアル、年中常務ニ逐ハレテ居テ、其間ニ新シイ案ヲ案出スルト云フコトハ、何レノ内閣デモ是ハ出來ナイノデアルト思フ、此行政政府ニ居ラレ、併ナガラ熱練經驗ヲ有シテ居ラレ、經驗ヲ有シテ居ラレ、併ナガラ熱練經驗ヲ有シテ居ルト同時ニ、舊來ノ習慣ニ因ハレルト云フコトハ、是ハ何人モ免レヌノデアアル、其故ニ此改革ヲ立テルト云フコトナラバ、此案ニ在リマス通り、朝野ノ適當ナ人ヲ選拔サレテ、之ヲ以テ組立テ、一ツ調ベサセテ見ル、斯ウ云フコトガ一番大切デナイカト、斯ウ考ヘマスノガ提出シテ所以デアリマス、其故ニ今年豫算ニ對シテモ多少不満足ノ所ガアリマスガ、概括シテドウシテモ見送ル時期ニナラズ居ルト云フ以上ハ、此所デ御互ニ調査機關ヲ拵ヘテ、虚心坦懷デ研究シテ見ヤウ、根本カラ研究シテ進運ニ應ズルガケハシテハドウカ、是ダケノ案デアリマス、ソレデ此委員ヲ拵ヘラレニシテモ、無論内閣諸公ニ御委セ致スノデアリマスガ、多少御注意ヲ致シテ置キタイ、是マデ委員ハ澤山アルノデアリマス、所ガ餘リ好イ成績ハ見ナイノデアリマス、ソレデ餘リ好イ成績ヲ見ナイト云フ事ハ、有體ニ申スト凡ソ委員ヲ拵ヘルト云ヘバ、貴衆兩院ノ議員ハ無論熱練シタ人ヲ選バレマセウ、ソレカラ實業家、學者、斯ウ選バレル、多クハ名ニ依ル、他ニ仕方ガナイ、非常ノ聲望ノアル人ヲ各團體カラ抜ク、斯ウ云フコトデ聲望ト云フ事ヲ第一ニ置イテ抜カレテ集メラレテモ、中ニ仕事ハ運バナナイ、其故ニ名ニ取ラズシテ事實ヲ取ル、各團體ノ按分比例トカ何トカ云フ事ハスカリ捨テ、相當ナ確ニ此人ナラバ調査ガ出來ル、同ジ實業家デモ、聲望ト云フ上ヨリ、事實ヲ、實際ヲ調ベテ、實際ヲ研究シテ居ル其適任者ヲ抜ク、ソレカラ兩院ニ於テモソレヲ抜ク、斯ウ云フ有様デ數ヲ餘リ多クシナクテ、熱達シ事實經驗ノアル實際出來得ラレルト云フ學者、實業家、兩院議員、之ニ政府當局ヲ合セラレマシテ、ソレデ調上ゲタナラバ、立派ナモノガ出來ハシマイカ、凡ソ委員ノ團體ハ組立デハナイ、人ニ在ルノデ、人ガ働カケレバ、何度拵ヘテモ役ニ立タナイノデアリマ

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

スカラ、之ヲ若シ内閣が御採用ニナルト云フナラバ、私ノ謂フ名ヲ取ラズシテ事實ヲ取テ行ク、聲望ヲ取ラズシテ實際ノ能力ヲ取テ行クト云フ方カラ團體ヲ組立テラレマシタナラバ、餘程ノ效果ガ舉ゲラレハシナイカ、内閣諸公ニ於カレテモ、同僚諸君ニ於カレテモ、御同様デアラフテ、此大戦ノ餘響トシテ此儘デハ參ラヌノデアリマス。總テテ改革シナケレバナラス、總テテ改革シナケレバナラスト云ヘバ、先ヅ茲ニ財政、就中最も力ヲ稅制ノ上ニ向ケテ行キタイト思フノデアリマス。租稅ノ制度、即チ改廢スベキモノモアラウ、或ハ他ニ増サナケレバナラスモノモアルデアラウ、殊ニ内務當局ニ於カレテハ、社會政策ノ研究、其他段々御調ニナシテ居ルヤウデアリマスガ、之ヲ調ベラレ、バ、此負擔ハドウシテ行クカト云フ問題ハ直チニ起テ來ルノデアアル、ソレカラ講和會議ノ結果ガドウナルカ、國防上ニモ大變化ガ及ンデ來ル、歳出ノ大部分ヲ占メル所ノ國防ノ大部分ニ影響スル、國際關係ニモ影響スルコト云フ、總テノモノガ根本カラ立テ直サナケレバナラスト云フコトガ出來ハシナイカ、ソレト同時ニ多年ノ習慣デ、餘程役人ノ間ニハ改革シナケレバナラスモノモアリマセウ、始終非難ヲ受ケル話デアリマスガ、役所ノ仕事ノ執方ト、實際會社銀行ノ仕事ノ執方ハマルデ違フ、コンナ事ヲ此機會ヲ以テ一掃シテシマフ、民間ノ熱達ノ士ヲ舉ゲテ、互ニ研究スルコトガ一番必要デアナイカ、丁度御互ニ之ヲ以テ——全ク是ハ黨派問題以外ノ、事デアリマスカラ、御互ニ誠心誠意研究スル、内閣モ亦虚心坦懐ニ何トカ大改革ヲナサレト云フ意味デ、ドウカ此案ヲ御賛成ヲ願ヒタイ、是ダケノ趣意デス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

〔拍手起ル〕

- 兒玉右二君 質問ガアリマス
- 副議長(濱田國松君) 提案者ニ對スル質疑デスカ
- 兒玉右二君 サウデス
- 副議長(濱田國松君) 許可致シマス
- 兒玉右二君 私ハ風邪デアリマスカラ、襟卷ヲ御免ヲ蒙ッテ置キマス、稅制ノ整理、財政ノ整理ハ、是ハ議員ノ權能デ、殊ニ議員トシテ盡サナケレバナラスコト、思ヒマス、唯今犬養先生ヨリノ御議論ニ對シテ、私モ敬意ヲ表シテ、其事ノ至當ナルヲ感ズルモノデアリマス、唯、私共突飛ノ意見トシテ一ツ何デ置キタイノハ、政友會ノ宣明スル所ニ依ルト、常ニ稅制ヲ整理シ、財政ヲ整理スルト云フコトハ何時モ言テ居ル、之ニ對シテ今吾、ハ友黨ノ關係ヲ以テ豫算ヲ鵜呑ミニセントスル時ニ當テ、此建議案ヲ以テ政友會ヲ掣肘スルト云フ意味ナライザ知ラズ、稅制ノ整理、財政ノ整理ト云フコトヲ常ニ標榜シテ宣明シテ居ル政友會ニ、更ニ調査會ヲ設ケルト云フコトハ、政友會ノ内閣ノ稅制整理、財

政整理ニ對シテ信ヲ置クニ足ラヌト云フ御考デアリマスカ、之ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、其次ニハ虚心坦懐事ニ當ル、是モ先生ノ御言葉中ニアリマシテ、至極感服ノ次第デアリマス、去リナガラ虚心坦懐ハ議員トシテ事毎ニ事ニ當ラナケレバナラス、對外調査會、或ハ國勢調査會、臨時產業調査局、調査ノ局、調査ノ會ヲ置カル、コト此二三三年頻繁ナルコト、兩後ノ箇ノ如クズシテ生ジテ居リマス、此時ニ於テ犬養先生御主張ノ此調査局ヲ設ケテ、更ニ其簡ヲ取ラズシテ繁ヲ増スノミニ終テ、遂ニ其調査局ナルモノハ、議員ガ當然盡スベキ其職責ヲ蔑ニスルコトガ有ルヤ無キヤト云フコトヲ私ハ疑ウテ居ルノデアリマス、是ガ第二問、次ノ第三ハ甚ダ突飛ノ言デアリマスガ、斯ノ如キ案ガ若シ憲政會ヨリ起ルナラバ、取リモ直サズ大藏大臣ニ對スル不信任案ノ一ト認ムベキモノト私ハ思フ、之ニ對シテ私ノ如キ愚ナル者ガ國民ノ中ニ數居リマス、愚民ヲ代表スル私ニ對シテ、懇切丁寧ナル御説明アランコトヲ希望致シマス

○犬養教君

至極御尤ナ御尋ト考ヘマス、第一ノ御尋デアタノハ、無論政友會モ稅制整理、財政整理ハ唱ヘラレテ居ル、政友會バカリデゴザイマセヌ、凡ソ議會始ッテ以來、各團體共ニ是ガ載ッテ居ナイノハナイノデアリマス、皆ナ財政整理、行政整理、總テノ整理ヲ唱ヘラレテ居ル、政府モ亦實際其意味ガ無いノデアナイ、各内閣ガ起リマス、何時デモ改革ヲドウカシヤウト云フ考ヲ持ッテ居ル、何故ニ行ハレヌカト云フト、嚮ニ申シタ通りニ、如何ナル熱練ノ人デアテモ、多年其役所デ同ジ事務ヲ爲シテ居ルト、容易ニ新シイ案ハ出テ來ナイモノデアリマス、是ハ人間ノ弱點デ容易ニ出ナイト云フコト、最も繁雜ナル行政デ、凡ソ各局ノ有様ヲ見テモ、日常事務ニ追ハレバカリデ、中ニ新規ナ仕事ヲ出スコトハ出來ヌ、ソレ故ニ政友會ガ稅制整理、財政整理ヲ唱ヘラレタノハ言葉ノ上デアナイ、爲サウト云フ考ニ相違アリマスマイガ、御役人ダケデ爲スト云フコトハ餘程困難ナノデアリマス、ソレダカラ民間ノ學者、實業家、其外練達ノ士ヲ集メテ協議ヲスルコトガ必要ダト思フ、是ハドウモ私ハ實際必要ダト考ヘテ居リマス、ソレデ貴方ノ仰シヤル調査會ハ澤山アル、多イノデス、甚ダ多クテ困ル、多クテ困ルト云フノハ忙シイ人デ打掛テヤアルコトガ出來ナイ、聲望アル人バカリ多ク集メラレル傾向ガアルノデ、ソレ故ニ聲望ハ第二ニシテ、言ヒ換ヘルナラバ是マデ各望ノアル年ヲ取ラレタ人ヲ其劇職ニ當テルト云フコトニ如何ニモ御氣ノ毒ナ、若手ノ新銳ノ頭デニ當ラレル、實際調ベラレルト云フ人ヲ之ニ集メテ、サウシテ役人ト混合一體デ調上ゲルト云フコトヲ致サナイト、新規ナ事ガ出來ヌト云フノデアリマスカラ、政友會ガ爲サレル考ナラ極ク宜イ、此内閣ガソレヲ更ニ補ッテ仕途

ゲテ行ク、斯ウ云フノデ、是マデハ御承知ノ通りニ——成程文學的ノ好イ言葉デ言ヒ現サレマシタガ、兩後ノ箇ノ如ク中ニ澤山會ガ起ダガ、普通ノ會デ、是デハイカヌ、ソレ故ニ私ハ調査ナルモノハ機關ガ働クノデアナイ、其人ガ働ク、働ケル人デ調ベル聲望ハ要ラス、實際ノ能力ヲ採レ、此方針ヲ以テ組立テラレタナラバ、確ニ調査會ハ役ニ立ツ、斯ウ私ハ考ヘテ居ル、ソレカラ第二ニ御尋ノアタノハ、此中ニ含マレテ居リハシマセヌカドウデス——第二ハ何デス

〔第二ハ同ジ意味デス〕

○犬養教君 入ッテ居リマスナ、今ノ御尋ハ至極御尤デ、私モ同様ニ心配致シテ居リマス事柄デアリマス、ドウカ内閣諸公モ、其意味ニ於テ組立テラレトニ致シタイト考ヘマス、私ハ決シテ不信任ノ意味デ出シタノデアナイ、併シ信任ヲエライ置クト云フ意味デモナイ、誰ガヤッテモ之ヲ調上ゲルヨリ仕方ガナイ

○小林嘉平治君

議長

○副議長(濱田國松君) 小林君何デアリマス、質疑デスカ

○小林嘉平治君 質疑デス

○副議長(濱田國松君) 許可致シマス

○小林嘉平治君 是カラヤリマス、提案者ノ犬養教君ニ質問致シマス、犬養教君ハ現内閣ヲ以テ政黨内閣ナリト認ムルヤ(笑聲起ル)若クハ前内閣ノ寺内内閣同様ニ官僚内閣ト認ムルヤ、此點ニ付テ私ハ(無用々々)呼フ者アリ(犬養教君ノ御考ヲ承リタイノデアリマス)(無用々々)呼フ者アリ(私ハ此提案ニハ非常ニ敬意ヲ拂ウテ居ッ者デアリマス、然ルニ唯今ノ御説明ヲ承リマスルト、免角役人ト云フ者ハ事務ニハ熱達シテ居ルガ弊害ガ伴フ、ソレデアアルラシテ、民間ノ又貴衆兩院ノ、ソレノ頭ノアル聲望ノアル者ヲ集メテ調査會ヲ設ケナケレバナラス、是ガ提案ノ主ナル理由デアアルノデアリマス、犬養教君ニシテ今ノ内閣ヲ政黨内閣ト認メテ居ルナラバ、又世間ノ所謂平民内閣——私ハモウ一步進シテ、是ハ實業内閣ト云フテモ宜イト思フ(笑聲起ル)何トナレバ内閣諸公ハ皆實業界ノ經驗ト閱歷トヲ有シテ居ラレル方デアリマス、斯ノ如キ内閣ニ對シテ斯ノ如キ提案ヲ爲サルト云フコトハ、抑、諸君ノ所謂常ニ熱望シテ居ル所ノ政黨内閣ヲ侮辱スルモノデアアル(何ヲ言ッテ居ルノダ)ト呼フ者アリ(笑聲起ル)是ハ私バカリデアナイ、諸君ノ所謂友黨デアアル所ノ新政會ノ御方カラ、今ノヤウナ質問ガ出タデアリマセヌカ、此點ニ向ッテ犬養教君ハ明カナル答辯ヲ與ヘラレントコトヲ望ミマス

〔無用々々〕ト呼フ者アリ

○副議長(濱田國松君) 御答辯ニナリマスカ
〔答辯ノ必要ナシト呼フ者アリ〕
○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ特ニ二十八名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ、岩崎君ノ動議ノ如ク議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス。諸君ニ御諮リテ致シマス、是デ日程ハ一應終タリマス。山根正次君ヨリ世界感冒ニ關スル緊急質問ヲ致シタイトノ申出ガアリマス、日程ヲ追加シテ此質問ヲ許可スルコトニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス。山根君

世界感冒ニ關スル緊急質問(山根正次君提出)

〔山根正次君登壇〕

○山根正次君 諸君、世界感冒ト申シマスルカ、或ハ流行性感冒ト申シマスルカ、或ハ流行性肺炎ト謂フカ、此病氣ガ(間エマセヌ)ト呼フ者アリ。流行リマシテ、大變ニ人命ヲ損スルノデアリマス。之ニ對シテ當局ノ豫防方法ヲ何等間カヌデアリマス、モウ出ルカ出ルカト思ウテ居ッテガイツカ出ナイ、然ルニ學校ハ閉デラレ、火葬場ハ屍體ヲ以テ滿サレテ焼クコトガ出来ナイト云フヤウナ有様、此病氣ハ如何ナル程度、如何ナル數ニマデ達シテ居ルカ、其事ガ知リタイノデアリマス、是マデニ二十七八年ノ後ノ頃ニ於テハ、臨時検査部ヲ設ケテ、其處テ是等ノ豫防ヲシタト云フコトガアリマス、然ルニサウ云フ事ガ一ツモ無イノハドウデアリカ、學者ガ彼方此方ニ於テ、是ガ豫防方法ヲヤツテ居ルカ、モ皆ナ違テ居ルヤウデアアル、之ヲ一定シテ内務省ニ學者ヲ集メテ、即チ是ガ豫防方法ヲ講ゼラレレバ御考ハ無イノデアリカ、ドウシテモサウ云フ方法ヲ講ゼラレレバ、何ノボデモ人ガ死ンデシマウ、實ニ悲惨ナ事デアアル、ソレデアリマス。カ、十二分ニ此事ヲ實ヒタイノデアリマス、ケレドモ内務省ハ之ニ對シテ何モヤツテ居ラヌヤウデアアルカ、之ヲ御尋スルノデアリマス、サウシテ豫防方法ヲ立テララドウデアアルカト云フコトヲ御尋シタイト云フ積リデ、今日此處ニ登ッテデアリマス、ドウカ御返答ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○副議長(濱田國松君) 杉山政府委員
〔政府委員杉山四五郎君登壇〕
〔拍手スル者アリ〕

○政府委員(杉山四五郎君) 唯今山根君ヨリ、目下非常ナ猖獗ノ勢ヲ以テ流行致シツ、アリマス、所謂流行性感冒ノ流行ノ實況ハ如何ト云フ御質問、次デ之ニ對スル政府ノ豫防措置如何ト云フ、此二點ノ御質問ト存ジマス、御答ヲ申上ゲマス、唯今山根君ノ御述ノ如ク、所謂此病氣ハ殆ド全世界ヲ風靡致シマシテ、我國ニモ昨年ノ春頃カラポツツ發生ヲ見マシテ、十月ノ中旬頃カラ非常ナ勢ヲ以テ傳染ヲ致シテ居リマス、而シテ其數ハ各地方劃一的ノ報告ガ參ッテ居リマセヌカ、極ク正確ニハ申上ゲラレマセヌケレドモ、昨年十月十五日以降本年一月三十一日ニ至リマスルマデ、三府二十四縣ノ實數ヲ申シマスルト云フト、患者數ガ九百三十三萬八千三百七十六名、中死亡者六萬八千八百八十八、比例ヲ申シマスルト千人ニ付七人二分ト云フヤウナ數ヲ示シテ居リマス、尙ホ之ヲ手近ナ東京市ニ就テ見マスルト、大正七年十月二十日ヨリ大正八年一月三十一日ニ至リマスル、約百日間ニ於ケル感冒ノ爲メノ死者ガ五千七十七人、此同一期間ニ於キマスル所ノ總死亡者數ガ一万八千四百五十五人、即チ死亡百ニ對シマスル感冒死者ノ數ノ割合ガ、二八、一四(パーセント)デアリマス、人口ニ致シマスルト、千ニ對スル死亡者ガ二人十六分デアリマス、尙ホ之ヲ男女別ニシテ、東京市内ノ狀況ヲ見マスルト、二十三歳カラ三十三歳ニ至リマスル間ハ、婦人ノ死亡率ガ男子ニ比シテ高マシテ居リマス、他ノ多クハ男ノ方ガ女ノ方ヨリ餘計死ンデ居リマス、ソレカラ發病カラ死亡ニ至リマスル實況ヲ見マスルト云フト、七日目ニ死ンデ居ル所ノ「パーセント」ガ最も高イノデアリマス、要スルニ先程申上ゲマシタル通り、三府二十四縣ノ實數ガ九百萬有餘名、隨テ日本全國ニ致シマスルト云フト、内地ダケデモ千五六百萬ノ患者ヲ出シテ居ルト云フコトヲ推定シ得ルノデアリマス、而シテ死者ハ之ニ對シテ十有餘萬人アツタト云フコトガ推定シ得ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ實ニ恐ルベキ實況デアリマス、ルガ爲メニ、政府ニ於キマシテハ、昨年十月二十三日ヲ以テマシテ、當局大臣ノ命ニ依リ、小官ヨリ致シマシテ、各地方長官ニソレノ豫防又撲滅ニ付キマスル所ノ方法ヲ、詳細ニソレノ注意ヲ致シマシタ、是ハ最早新聞紙等ニ出テ居リマス、別段詳シイ事ハ申シマセヌカ、要ハ詰マリ各自ノ豫防行爲自覺ト云フモノヲ促シテ、成ベク人込ノ中へ行カナイヤウニスルカ、外出ノ際歸宅ノ節ニハ、簡單ナル鹽水位デ、モ含嗽ヲスルカ、或ハ口ニ覆フ所ノ「レスピレーター」ヲ懸ケテ出ルヤウニスルカ、殊ニ電車ナドノ際ニ於テハ、餘程其點ニ注意スルト云フヤウナ、幾多ノ注意方ヲスルヤウニ通牒ヲ發シマシタ、是ニ依リマシテ警視總監ヲ首メ各府縣知事ニ於キマシテハ、論違ヲ發布致シマシテ、其徹底ヲ

期シツ、アルノデアリマス、他面ニ於キマシテハ所謂醫藥給セザル所ノ者ガアツテハナラヌト云フ所カラ致シマシテ、濟生會ノ活動ヲ促シ、此二月一日ニ至リマシテ、尙ホ英照皇太后陛下ノ御崩御ノ際ニ賜リマシタル各地方ノ慈悲救濟資金、又御大禮ノ際ニ御下賜アリマシタル大禮恩賜金、此内ヨリ適當ノ支出ヲ致シマシテ、貧ニシテ醫藥給セズ、其病氣ノ爲メニ死スルヤウナコトガアリマシテハ、大變デアリマス。カ、其邊ノ徹底方モ注意ヲ致シテ居リマス、デ或ハ先程ノ御質問中ニ、ドウモ山根君ノ希望シテ居ラレルノハ、政府當局ハソレノ專門ノ學者ヲ集メテ、何等カ防疫ノ機關デモ設置シテハドウデアアルカ、其邊ノ考ハナイカト云フヤウナ御趣旨ニモ拜承致シマシタ、成程嘗テ(ベスト)ナドニ付キマシテ、臨時防疫機關ヲ設置シタコトモアリマス、併ナガラ此病氣ノ所謂病原菌ニ付キマシテハ、私ヨリモ專門家デアラル、所ノ山根君ハ夙ニ御了承ノコトデ、是ハ千八百八十九年ニ西班牙ニ「パイエル」菌ト云フモノガ見付カデ居タ、元來此「パイエル」菌ニ付テハ、山根君モ御了承ノ通り、傳染病研究所ハ之ヲ認メズ、東京ノ醫科大學ニ於テモ、或部分ニ於テハ同様ノ意見ヲ持ッテ居ルニモ拘ラズ、地面ニ於テハ北里研究所ノ如キハ、此「パイエル」菌ヲ「八十八」(P-188)ト認メテ居ル、現ニ其調査研究ノ結果ニ基キマシテ、血清ヲ作シテ、今之ヲ試驗シツ、アルヤウナ實況デアリマス、又他面京都ノ醫科大學、福岡ノ醫科大學ニ於テハ、矢張同様ニ「パイエル」菌ヲ認メテ居リマス、尙ホ昨日葉山ノ御用邸ニ天機奉伺ニ參リマシタ際ニ、汽車中デ神奈川縣ノ當局ニ遇ヒマシタガ、神奈川縣ニ於テハ、内務ヨリ派遣シテ居リマス、北野防疫官ガ段々攻究致シマシタル結果、所謂「パイエル」菌ニ基ツク感作「ワクチン」ヲ作シテ、是ガ寔ニ熱ヲ出ス所ノ反應ヲ出サナイデ、餘程豫防ニ有效デアルト見受ケラレルト云フヤウナ話モ聽キマシタ、併シマデハ極ク一少部分ニ適用シタノデアリマス。カ、是ガ豫防ニ有效的確デアルノ「ナラズ」治療ノ上ニモ有

モ止メナレケバナラヌ、結局此交通機關「トラフキック」ト云フモノ、上ニ非常ナル影響ガアリマス、而已ナラズ凡ソ斯様ナ傳染病ノ流行ル時分ニハ、其本病ゾレ自身ノ外ニ、臆病ト申シマスカ、神經的ニ非常ニ恐怖致スヤウナ心理状態モ起リマスノデ、愈、此禁止ヲ斷行スルト云フコトハ——集會禁止ヲ斷行スルト云フコトハ、餘程調査ヲ要シ、考慮ヲ加フベキ餘地ガアルト云フヤウナ専門家ノ證言モアリマスルノデ、ソレコレ等ヲ斟酌致シテ、マダ其方面ニマデ手ハ著ケテ居ラヌノデアリマス、併シ昨日アタリノ東京市ニ於ケル實況ナドヲ見テモ、事實昨年ノ百五十人、百六十人ノ死亡者ニ對シテ、東京市内ニ於ケル死者ガ三百人以上ニ達シテ居リマスカラ、大體ニ於テ此流行感冒ニ依テ死スル者ハ、百五十人ツマアルト云フコトガ分ルノデアリマスカラ、山根君ノ仰シヤル通り、實ニ警視廳ハ夜ダケノ火葬ヲ以テ足ラズトシテ、遂ニ晝火葬スルコトモ許シタヤウナ譯デアリマス、寔ニ吾々同胞此民族ノ上ニ於テ、衛生上遺憾千萬ノ事ト考ヘテ居ル次第デアリマス、希クハ何等カノ方法ヲ以テ、此上トモ當局ハ銳意此方面ニ力ヲ加ヘマシテ、此豫防方法及此撲滅ニ付テ、最善ノ努力ヲ致ス上ニ於テ尙ホ考慮ヲ加ヘテイト考ヘテ居リマス、此神聖ナル議場ニ於テ、吾々同胞民族ニ關スル問題ニ付テ御質問ヲ蒙リ、而シテ尙ホ是等ニ付キマシテ、斯學ノ専門家タル山根君ヨリ深甚ノ御注意ヲ以テ御希望ヲ拜承スルコトヲ得マシタルモノハ、吾々當局ニ取リマシテ深ク感謝ノ意ヲ表明スルモノデアリマス、概要右ニテ御了承ヲ願ヒマス

○伊東知也君 政府委員ニ質問ガアリマス、宜シウゴザイマスカ——甚ダ無様ナ話デゴザイマスガ、此程大岡議長ト或ル私ノ席上ニ於テ、色々現在ノ此世界風流行ニ付テ御話ヲシタ際ニ於テ、議長ノ仰セラレルニハ、ドウモ不思議ナ現象ガアル、今回ノ此世界風ナルモノニ罹ル者ハ、多クハ酒ヲ飲マヌ人デアッテ、酒ヲ飲ム者ハ餘リ糶ラスト云フ（笑聲起ル）ソレニ付テハ杉山衛生局長モ其事ヲ自分ニ御話ニナタコトガアル、是ハ餘程面白イ現象デアルカラシテ、ドウ云フ統計ニナッテ居ルカ知ラヌガ、自分モソレ以來酒量ヲ増スヤウニシテ居ルト云フコトヲ、大岡議長ガ私ニ直接ニ御話ニナタノデアリマス、又議院内ニ於テモ御聽ニナタ人モアル善デアリマス、サウシマスルト是ハ實ニ餘程面白イ事デアリマシテ、杉山局長ヲ首メトシテ、酒ノ效能ハ愈、此ニ於テ顯著ナル證ヲ見ルト云フコトニナッテ、敢テ「ワクチン」トカ何トカ六ヶシイ事ヲ言ハナクトモ、酒ヲ飲ムサヘスレバ此風邪ガ免レルコトガ出來ルナラバ、大ニ酒ヲ飲ムコトヲ獎勵ナサレタナラバ、此病源ヲ防グコトガ出來ヤシナイカト云フ私ハ考フ持シテ居ッノデアリマス、幸ニシテ本日此問題ガ此議席ニ

現レマシタカラ、飲酒者ト酒ヲ飲マヌ者トノ死亡率ノ統計ニ付テ御調査ガアルヤ否ヤ、又局長自身ガ大岡議長ニ向ッテ、或ハ漠然タル御話デアッタカ知ラヌガ、サウ云フコトヲ御話ニナタトスレバ、何ゾ據ロガアッタニ相違ナイト私ハ思ヒマスルガ、願クハ之ヲ明ニ御説明下サイマシテ、酒ヲ飲マヌ者ニハ酒ヲ飲マス、又非常ナル勢ヲ以テ死亡率ヲ増ス所ノ風邪ヲ防グ爲メニハ、餘程是ハ簡便ニシテ要ヲ得タル方法グラウト思ヒマスルカラ、其點ニ付テノ御考ハ如何デゴザイマセウカ、何か死亡率ノ統計カ何カガ其處ニ御有リニナレバ御説明ヲ願ヒタイト私ハ思ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 唯今伊東君ヨリ酒ヲ飲ンデ居レバ此病氣ニハ罹ラヌ、酒ト此病氣トノ關係ハドウデアルカト云フ御質問ト存ジマスル、實ハ私ハ専門家デアリマセヌモノデアスカラ、勿卒ノ際ニ斯ル責任アル御質問ニ對シテ答辯ヲ致シマスルコトハ、甚ダ如何カト存ジマスルケレドモ、今マデ聽及ビマシタル範圍ニ依リマスト云フト、専門ノ醫者ハ酒ヲ飲ンデ居ルト云フコトハ、此風邪ニ罹ラヌ時分ニ、熱ナドヲ惹起ス際最モ危險デアル（笑聲起ル）熱ノ解脫スルコトガ酒ヲ飲マナイ人ヨリ飲ンダ人ノ方ガ遅イ、詰リ酒ヲ飲ム人ハ謂ハ、心臓ガ襲ハレテ居ルノデアリマスカラ、動モスルト此死亡ニ歸スルヤウナ虞ガ酒ヲ飲ム人ノ方ニアル、故ニ風邪ニ罹ラヌ時分ニ、ナニソナモノハ酒ヲ飲ンデ居リマシト云フヤウナ積リデ、感冒ニ罹ラヌ酒ヲ飲ンデ居リマスレバ、動モスレバ非常ニ恐ルベキ轉歸ヲ取ルト云フヤウナ事マデハ聞イテ居リマシタガ、是レ以上統計等ニ依テ云々ノ御質問ニハ、一寸其御答辯ガ出來兼ネマス、又前段ニ議長閣下ニ私ガ云々ト云フヤウナコトモゴザイマシタガ、私衛生局長トシテハ、サウ云フヤウナ事ヲ申上ダク積リハアリマセヌ（伊東知也君「個人トシテハ如何デスカ」ト呼フ）簡單ナルコトデスガ之ヲ以テ……

○副議長(濱田國松君) 日程ハ是ニテ終リマシタ、次會ノ日程ハ公報ニテ御通知ヲ申上ゲマス、本日ハ散會
午後四時四十六分散會

衆議院議事速記録第九號中正誤

| 頁 | 段 | 行 | 誤 | 正 |
|-----|---|----|------|------|
| 一〇四 | 上 | 三六 | 東郷村 | 車郷村 |
| 一〇六 | 中 | 一一 | 平島村 | 平島村 |
| 一〇七 | 上 | 一〇 | 野志内村 | 歌志内村 |